COMPAQ

REFERENCE GUIDE

リファレンス ガイド

Cシリーズ
ハンドヘルドPC

COMPAQ

C-SERIES
REFERENCE GUIDE

COMPAQ C シリーズ ハンドヘルド PC
リファレンス ガイド

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、省略に対して、また本書の適用の結果生じた間接損害を含めいかなる損害についても、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書には、著作権によって保護された情報が掲載されています。本書のいかなる部分も、Compaq Computer Corporationの書面による承諾なしに複写あるいは複製することはできません。

©1998 Compaq Computer Corporation
All rights reserved.
©1998 コンパックコンピュータ株式会社

Compaqは米国Compaq Computer Corporationの商標です。
Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。
その他、本書に掲載されている会社名、製品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

本書に掲載されているソフトウェアは、ライセンス契約、または秘密保持契約にもとづいて供給されます。したがってソフトウェアは、それらの契約条件によってのみ使用または複製することができます。

本製品は、日本国内で使用するための仕様になっており、日本国外では使用できない場合があります。

Reference Guide　**—リファレンスガイド—**
Compaq C**シリーズ　ハンドヘルド**PC

初版　1998年1月
改訂第1版　1998年6月
266667-192

コンパックコンピュータ株式会社

目次

はじめに
お使いになる前に

ハンドヘルドPCに関する情報 ix
アップデート情報 x
情報の検索 x
表記上の規則 xi

第 1 章
ハンドヘルドPCの準備

同梱物の確認 1-2
ハンドヘルドPCのセットアップ 1-3
Cシリーズの外観 1-9
ディスプレイと左側面の各部 1-9
前面と右側面の各部 1-10
表面と背面の各部 1-11
裏面の各部 1-12

第 2 章
パートナーの設定

ステップ1：コンピュータの必要条件の確認 2-2
静電気について 2-2
ステップ2：Windows CEサービスのインストール 2-3
ステップ3：通信ポートの設定 2-3
Windows NTワークステーションを使用する場合 2-3
Windows 95を使用する場合 2-3
ステップ4：ハンドヘルドPCのコンピュータへの接続 2-4
ステップ5：Compaq Cシリーズ ソフトウェアのインストール 2-5

第 3 章
キーボードとスタイラス

キーボード上の特殊機能 3-2
アプリケーション起動キー 3-4
デュアル輝度バックライト ボタン 3-5
スタイラス（ペン） 3-6

第 4 章
電源の使用

バッテリ電源の使用 4-2
バッテリ電源レベルのチェック 4-2
ロー バッテリ時の表示 4-3
バッテリ電源の節約 4-4
バッテリの交換 4-6
メイン バッテリの交換 4-6
バックアップ バッテリの交換 4-11
使用済みバッテリの廃棄 4-13
AC電源の使用 4-13
AC電源への接続 4-14
Cシリーズ ハンドヘルドPCのリセット 4-15
ノーマル リセットの実行 4-15
フル リセットの実行 4-16

第 5 章
モデムの使用

モデムの使用に関するご注意 5-2
モデムの接続 5-3
外付けモデム 5-4
外付けモデムの接続 5-4
外付けモデムの設定と使用 5-4
モデムによるインターネット接続 5-5
インターネットのブラウジング 5-5
モデムの通信速度について 5-6

第 6 章
PCカードの使用

サポートされるPCカード 6-1
PCカード ソフトウェア 6-2
操作上の注意 6-2
PCカードの挿入 6-3
PCカードの取り出し 6-4

第 7 章
赤外線機能の使用

赤外線接続の確立 7-2
ステップ1：ソフトウェアの設定 7-2
ステップ2：赤外線デバイスの設定 7-2
ステップ3：情報の転送 7-3

第 8 章
コンパック提供のソフトウェアの使用

ボイス メモの使用 8-2
メッセージの録音 8-2
メッセージの再生 8-3
メッセージの管理 8-3
オーディオ レベルの調整 8-3
バックアップ/リストア ユーティリティの使用 8-4
Compaq PCカード バックアップ/リストア ユーティリティ 8-5
Compaqフラッシュ マネージャ 8-8
Compaq拡張セキュリティ機能の使用 8-10
パスワード レベルについて 8-10
パスワードの設定 8-12
電源投入時のセキュリティ設定の解除 8-15
[コントロール パネル]のオーナー アプリケーションの使用 8-16
音量の調節 8-16
印刷 8-17
印刷可能なファイルの種類 8-17
印刷時の注意 8-18
ハンドヘルドPCからの印刷 8-18
アラームの設定 8-19

第 9 章
Compaq Cシリーズの取り扱い上の注意

日常の手入れ 9-2
持ち運びの際の注意 9-3
国外へ旅行する際の注意 9-4
荷物として送る際の注意 9-4

第 10 章
ヒントとトラブルシューティング

機能を最大限に活用するためのヒント 10-1
メモリの調整 10-1
データ転送速度の向上 10-2
トラブルシューティング 10-2
PCカードに関するトラブルの解決方法 10-3
オーディオに関するトラブルの解決方法 10-4
画面に関するトラブルの解決方法 10-4
キーボードとスタイラスに関するトラブルの解決方法 10-5
セキュリティに関するトラブルの解決方法 10-5
通信に関するトラブルの解決方法 10-6
バッテリと電源に関するトラブルの解決方法 10-9
メモリに関するトラブルの解決方法 10-11
カスタマーサポートについて 10-13
お問い合わせになる前に 10-13

付録 A
コンパック カスタマー サポート A-1

付録 B
ハードウェア仕様 B-1

付録 C
規定に関するご注意 C-1

索引 I-1

はじめに

お使いになる前に

このたびは最新のプロフェッショナル ハンドヘルドPC、Compaq Cシリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。お買い上げのCシリーズを使用する前に、必ず以下の説明をお読みください。この章には、次の情報が掲載されています。

- 印刷物とオンライン ヘルプ
- 表記上の規則

ハンドヘルド PC に関する情報

印刷物またはオンライン リファレンスとして、お買い上げいただいたハンドヘルドPCに関する情報を提供しています。オンライン リファレンスは、ハンドヘルドPC本体からアクセス可能です。また、このガイドの他に、以下の印刷物が付属しています。

- 『クイック セットアップ』カード
- 『アクセサリ』カタログ
- Microsoft®『ハンドヘルドPCユーザーズ ガイド』
- 安全に関する注意
- 保証書等

注：印刷物およびオンライン リファレンスで使用される「H/PC」とは、「ハンドヘルドPC」の略称です。

オンライン リファレンスとして、以下のオンライン ヘルプおよびインターネットのホームページでさまざまな情報を参照できます。

名前	場所
H/PCのヘルプ	ハンドヘルドPC本体
Windows® CEサービスのヘルプ	「デスクトップ ソフトウェアfor Microsoft Windows CE」CD（デスクトップ コンピュータにインストールします）
Microsoft社のインターネット ホームページ	http://www.microsoft.com/japan
コンパックのインターネット ホームページ	http://www.compaq.co.jp

アップデート情報

[**デスクトップ**]の[My Documents]から[**アップデート情報**]を選択して、このガイドには記載されていない、お使いのCシリーズ ハンドヘルドPCに関するアップデート情報を確認してください。

注：アップデート情報がない場合は、画面に[**アップデート情報**]は表示されません。

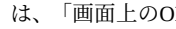
情報の検索

次の表に、どのような情報がどこにあるかをまとめています。必要な情報を探すときにお役立てください。

検索する情報	探す場所
Cシリーズの使用方法	『Cシリーズ リファレンス ガイド』（このガイド）
Cシリーズでのコンパック提供のソフトウェアの使用方法	『Cシリーズ リファレンス ガイド』（このガイド）
CシリーズでのWindows CE オペレーティング システムとソフトウェアの使用方法	Microsoft『ハンドヘルドPCユーザーズ ガイド』 H/PCのヘルプ
コンピュータでのWindows CE サービスの使用方法	Windows CEサービスのヘルプ
Cシリーズ製品に関する最新情報	コンパックのインターネットのホームページ（http://www.compaq.co.jp）

表記上の規則

このガイドでは、以下の表記法を使用します。

表記例	説明
[Enter]キー	キー名は、[　]で囲んで表記します。この例の場合は、「Enterと書かれているキー」のことです
[Shift]＋[Caps Lock]キー	「[Shift]キーを押しながら[Caps Lock]キーを押してください」という意味です
[Ctrl]＋[Alt]＋[Delete]キー	「[Ctrl]キーと[Alt]キーを押しながら[Delete]キーを押してください」という意味です
[OK]ボタン	ボタン名は[　]で囲んで表記します。この例の場合は、「画面上のOKを四角で囲んだ領域（  ）」を指します。「ボタンを押す」とは、ボタン上にマウス ポインタを置いてクリックするか、または[Tab]キーや矢印キーを使ってボタンを強調表示させてから[Enter]キーを押すことをいいます
C:¥BIN¥CONFIG.SYS	これは、ドライブ名、ディレクトリ名、ファイル名を表しています
DIR	コマンド名が改行して次の行から書いてある場合は、「DOSプロンプトでそのようにキー入力してください」という意味です
C:¥>	プロンプトは、ゴシック体で表記します
[**スタート**]→[**設定**]→[**コントロール パネル**]	画面に表示されるメニュー名やコマンド名は[　]で囲んで表記します。また、→は順番に選択することを表します。この例では、「画面上の[**スタート**]ボタンをクリックして次に[**設定**]、[**コントロール パネル**]の順にクリックして選択してください」という意味です。ダブルクリックする必要がある場合もあります
警告	指示に従わないと、人体への傷害や生命の危険を引き起こす恐れがある警告事項を表します
注意	指示に従わないと、装置の損傷やデータの損失を引き起こす恐れがある注意事項を表します
重要	詳しい説明や具体的な手順を示します
注	解説、補足、付加的情報を示します

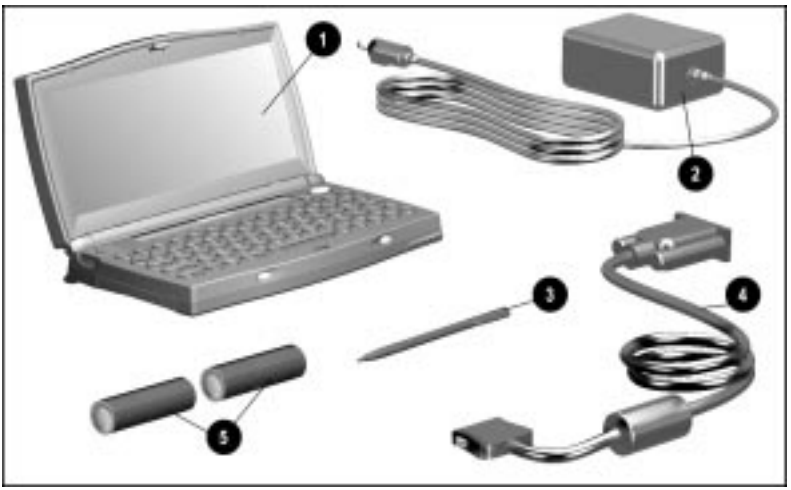
第1章

ハンドヘルドPCの準備

この章では、Cシリーズ ハンドヘルドPCを使用するための準備について説明します。

- 同梱物の確認
- ハンドヘルドPCのセットアップ
- ハンドヘルドPCの各部の名称

同梱物の確認



同梱物

ハンドヘルドPCのセットアップを始める前に、同梱物を確認してください。

❶ ハンドヘルドPC本体

❷ ACアダプタ

❸ スタイラス（ハンドヘルドPC内に収容）

❹ Auto-Sync（同期）ケーブル

❺ バッテリ（モデルによって単三アルカリ乾電池が2本またはニッケル水素（NiMH）バッテリ パックが1つ付属しています）

その他の付属品

- モデム ケーブル（一部のモデル）
- クレードル（カラー モデルのみ）
- CD-ROMディスク（2枚）
- マニュアル一式

注：お買い上げいただいたCシリーズのモデルに添付されていないアクセサリについては、付属の『アクセサリ』カタログを参照してください。

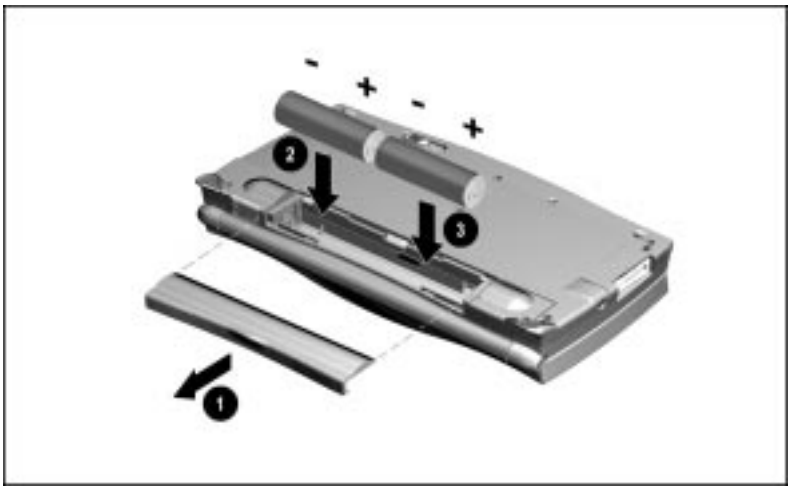
ハンドヘルドPCのセットアップ

以下の手順に従って、ハンドヘルドPCをセットアップします。セットアップ後、この章の「Cシリーズの外観」の項目を参照して、Cシリーズのさまざまな機能を確認してください。

1. ハンドヘルドPCを裏返しにします。
2. 次のいずれか一方の作業を行います。

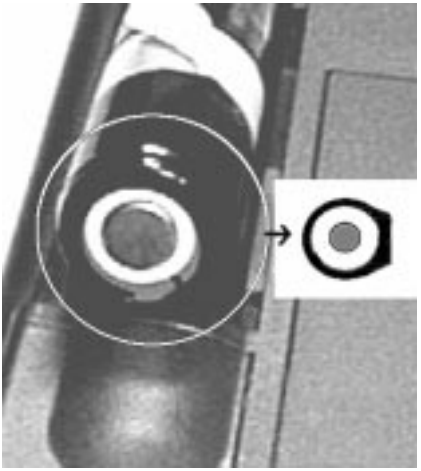
   ■ Cシリーズに単三アルカリ乾電池が付属している場合は、下記の図を参照して作業してください。メイン バッテリ カバーを外し、図のように2本の乾電池を入れます。乾電池のプラスとマイナスの方向に注意してください。

> **注意：**カラー ディスプレイを装備したモデルのCシリーズの場合は、コンパックで認定したCシリーズ カラー モデル用のニッケル水素（NiMH）バッテリ パック（製品番号327596）を使用してください。**単三アルカリ乾電池は使用しないでください。**



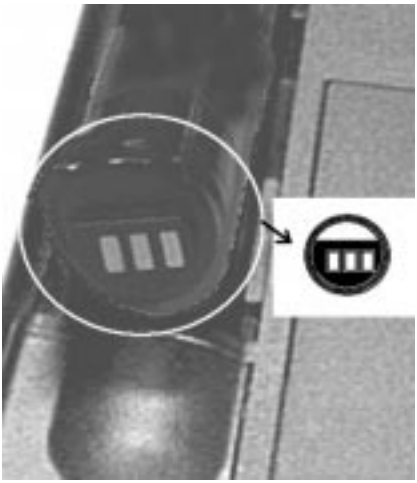
アルカリ乾電池の取り付け

■ ニッケル水素（NiMH）バッテリ パックを装着する場合は、お買い上げいただいたハンドヘルドPCのモデルによりバッテリ パックの形状および装着方法が異なりますので、以下の説明をお読みになり、正しくお使いくださいますようお願いいたします。



モノクロ モデルには、ニッケル水素（NiMH）バッテリ パックは標準では付属していません。別売のバッテリ パック（製品番号：314508）を使用する場合は、左図および下図を参照して、**バッテリ パックの平らな面を本体の内側**（左図では右側）**に向け**、バッテリ パック側面の金属部分がコンパートメント内の本体内側の接点に正しく接するように装着してください。正しく装着しないと充電されませんので注意してください。

ニッケル水素（NiMH）バッテリ パックの取り付け
（モノクロ モデル：バッテリ パック製品番号314508**）**



カラー モデルにはカラー モデル用ニッケル水素（NiMH）バッテリ パック（製品番号：327596）が標準で付属しています。左図および下図を参照して、**バッテリ パックの接点とバッテリ コンパートメント内の接点が正しく接するように**装着してください。また、予備のバッテリ パックを購入される場合は、製品番号327596のカラー モデル用のバッテリ パックをご指定ください。

ニッケル水素（NiMH）バッテリ パックの取り付け
（カラー モデル：バッテリ パック製品番号327596）

警告：乾電池やバッテリ パックを正しく取り扱わない場合、化学薬品による火傷や発火の恐れがあります。乾電池やバッテリを分解したり、つぶしたり、穴を開けたりすることは絶対におやめください。また、接点をショートさせたり、水や火の中に捨てたり、60℃を超える高温な場所に保管したりしないでください。

注意：バッテリ コンパートメントにバッテリを装着するときは、無理に押し込むと装置が損傷する場合がありますので、バッテリの向きに注意して正しく挿入してください。

3. メイン バッテリ カバーを元どおりに取り付けます。

メイン バッテリ カバーの取り付け

4. バックアップ バッテリの絶縁用テープを引き外して、バックアップ バッテリを有効にします。

絶縁用テープの引き外し

5. ニッケル水素（NiMH）バッテリ パックを使用する場合は、ACアダプタを使用して、ハンドヘルドPCをAC電源に接続し、バッテリ パックを充電します。バッテリ パックを完全に充電するには約3時間かかります。単三アルカリ乾電池を使用する場合（モノクロ モデルのみ）は、ステップ6に進みます。

重要：Cシリーズ ハンドヘルドPCでは、メイン バッテリとバックアップ バッテリの2種類のバッテリを使用します。ハンドヘルドPCを外部電源に接続していない場合、これら両方のバッテリ電力が消耗してしまうと、データ、設定内容、およびユーザがインストールしたプログラムがすべて失われ、工場出荷時の状態に戻ってしまいます。ハンドヘルドPCを長時間使用しない場合は、バッテリ残量に注意してください。また、必要なデータなどのバックアップを定期的にとることをおすすめします。

バッテリの交換方法については、このガイドの第4章の「バッテリの交換」の項目を参照してください。

6. ハンドヘルドPCを元の向きに置きなおしてから、カバーを開けます。

カバーを開ける

7. 電源ボタンを押して電源を入れます。

電源ボタンを押す

8. 画面上の指示に従って、セットアップ作業を行います。
9. ハンドヘルドPCについての情報を画面で見ることができます。[Fn]+[Alt]を押して[**ガイド ツアー**]を起動してください。

セットアップが完了した後に、ハンドヘルドPCをコンピュータに接続するとコンパック提供のソフトウェアをロードすることができます。詳しくは、「第2章 パートナーの設定」を参照してください。

Cシリーズの外観

ハンドヘルドPCには多数の便利な機能があり、非常に使いやすくなっています。ここでは、それぞれの機能とその場所を説明します。

ディスプレイと左側面の各部

ディスプレイと左側面の各部

番号	名称	機能
❶	ディスプレイ	画像や文字情報を表示したり、操作を行うためにスタイラス（付属のペン）でタッチしたりします
❷	モデム コネクタ	RJ-11モデム ケーブルを接続します（モデルにより装備されていない場合もあります）
❸	PCカード スロット	Type IまたはType IIの16ビットPC（PCMCIA）カードをサポートします。詳しくは、「第6章 PCカードの使用」を参照してください

前面と右側面の各部

前面と右側面の各部

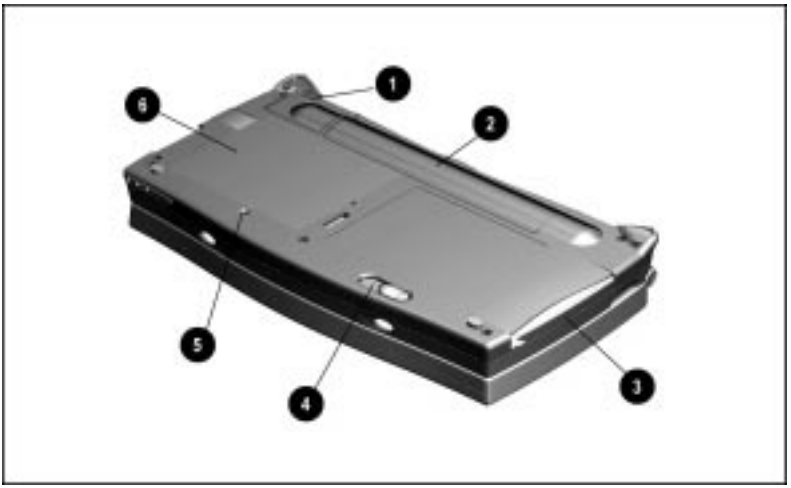
番号	名称	機能
❶	デュアル輝度 バックライト ボタン	輝度を調整して画面を見やすくできます。詳しくは、第3章の「デュアル輝度バックライト ボタン」を参照してください
❷	電源ボタン	一度押すとハンドヘルドPCの電源が入ります。もう一度押すと電源が切れます
❸	AC電源コネクタ	ACアダプタを使用して外部（AC）電源に接続します
❹	シリアル コネクタ	Auto-Sync（同期）ケーブルやプリンタ ケーブルなどを使用してシリアル デバイスに接続します。詳しくは、第2章の「ステップ4：ハンドヘルドPCのコンピュータへの接続」を参照してください
❺	スタイラス スロット	スタイラスを使用していないときに、スタイラスを保護するためにここに収納します
❻	アラーム ボタン	アラーム音が鳴ったときは、このボタンを押すと止まります。アラームの使用方法については、第8章の「アラームの設定」を参照してください
❼	録音ボタン	このボタンを押しながらマイクに向かって話すと、ボイス メモが作成できます

表面と背面の各部

表面と背面の各部

番号	名称	機能
❶	アラーム ランプ（緑色）	■ ハンドヘルドPCの電源を入れると一度点滅します ■ アラームを設定した時刻になると点滅し始めます ■ アラーム ボタンを押すか、ソフトウェアでアラームを止めると消灯します
❷	バッテリ充電ランプ（オレンジ色）	■ ニッケル水素(NiMH)バッテリ パック(モデルにより別売の場合もあります)の充電中に点灯します。また、ハンドヘルドPCを外部電源に接続したときにも点灯します ■ 充電が完了すると消灯します
❸	スピーカ	アラーム音、ボイス メモの再生、およびその他のオーディオ効果音を生成します。スピーカ レベルの設定については、第8章の「音量の調節」を参照してください
❹	マイク	録音ボタンを押しながらマイクに向かって話すと、ボイス メモが録音できます。マイクは、ハンドヘルドPCのディスプレイが開いていても、閉じていても有効です
❺	赤外線（IR）ポート	ワイヤレス赤外線通信が可能です

裏面の各部



裏面の各部

番号	名称	機能
❶	バックアップ バッテリ コンパートメント	CR2032リチウム ボタン電池を取り付けます。このバッテリは、メイン バッテリが切れたり取り外されたりした場合に、バックアップ バッテリとして機能します
❷	メイン バッテリ コンパートメント	ハンドヘルドPCのメイン バッテリとして機能する単三アルカリ乾電池を2本（モノクロモデルのみ）またはニッケル水素（NiMH）バッテリ パックを1つ取り付けます
❸	PCカード スロット	Type IまたはType IIのPC（PCMCIA）カードをサポートします。このスロットについて詳しくは、「第6章 PCカードの使用」を参照してください
❹	PCカード イジェクト レバー	PCカード スロットからPCカードを取り出すときに使用します
❺	リセット ボタン	オペレーティング システムを再起動します △ **注意：**リセット ボタンを押すと、それまでに保存されていない情報はすべて失われます
❻	拡張コンパートメント	RAMモジュールを取り付けます。別売のRAMでアップグレードも可能です

第2章

パートナーの設定

Cシリーズ ハンドヘルドPCは、「コンピュータ アシスタント」のような役割を果たします。つまり、自分のデスクにいなくても普段使用しているコンピュータの機能が利用できるようになります。これは、ハンドヘルドPCを、コンピュータの「パートナー」として設定することにより可能となります。パートナーの設定とは、ハンドヘルドPCを普段使用しているコンピュータと同期させて、データを転送するための接続を確立するプロセスです。

パートナーの設定は、次の5つのステップで行います。この章では、それぞれのステップについて説明します。

ステップ1：コンピュータの必要条件の確認

ステップ2：コンピュータへのWindows CEサービスのインストール

ステップ3：コンピュータの通信ポートの設定

ステップ4：ハンドヘルドPCとコンピュータの接続

ステップ5：Compaq Cシリーズ ソフトウェアのインストール

パートナーの設定については、Microsoftの『ハンドヘルドPCユーザーズ ガイド』およびコンピュータにインストールしたWindows CEサービスのヘルプも参照してください。

ステップ1：コンピュータの必要条件の確認

パートナーの設定を行う前に、パートナーとして設定するコンピュータが下記の必要最小条件を満たしているか確認してください。

- 486/33DXまたはそれ以上のプロセッサ
- Microsoft Windows® 95またはそれ以降のオペレーティング システム
  または
  Windows NT® Workstation 4.0またはそれ以降のオペレーティング システム
- 8 MBのメモリ（Windows 95の場合）
  12 MBのメモリ（Windows NT Workstation 4.0の場合）
- ハードディスクに10 MBの空き容量
- 9ピンまたは25ピンのシリアル ポートが利用できること（25ピンのシリアル ポートの場合はアダプタが必要）
- CD-ROMドライブ
- VGAまたはそれ以上の解像度を持つグラフィックス カード
- Microsoftマウス、またはそれと互換性のあるポインティング デバイス

注：一部の他社製のアプリケーションでは、必要条件が異なる場合があります。詳しくは、お使いになるアプリケーションに付属のマニュアルを参照してください。

静電気について

身体にたまった静電気が電子機器の動作に影響を及ぼす場合があります。お使いのCompaq Cシリーズ ハンドヘルドPCでも、ファイルが壊れたり保存していないデータが失われたりするなど、静電気が原因で誤動作となる可能性があります。正常な動作に戻すには、このガイドの第4章の「Cシリーズ ハンドヘルドPCのリセット」の項目を参照してリセットしてから再起動してください。

また、このような場合に失われるデータを最小限に抑えるため、定期的にハンドヘルドPCのデータのバックアップをとることをおすすめします。バックアップについて詳しくは、このガイドの第8章の「バックアップ/リストア ユーティリティの使用」の項目を参照してください。

ステップ2：Windows CEサービスのインストール

Windows CEサービスは、ハンドヘルドPCとコンピュータとの間でデータを同期させるソフトウェアです。以下の手順に従って、Windows CEサービスをコンピュータにインストールします。.

重要：このソフトウェアをインストールする前に、コンピュータがこの章のステップ1に記載されている必要最小条件を満たしていることを確認してください。

1. コンピュータのCD-ROMドライブに、ハンドヘルドPCに付属の「デスクトップ ソフトウェアfor Microsoft Windows CE」CDを挿入します。
2. CDに付属の説明およびコンピュータの画面に表示される指示に従って、Windows CEサービスやその他のソフトウェアをインストールします。

ステップ3：通信ポートの設定

接続を行う前に、コンピュータのCOMポートをハンドヘルドPCと通信できるように設定する必要があります。

注：この手順は、Auto-Sync（同期）ケーブル（シリアル ケーブル）での接続のみを対象としています。赤外線ポート、RAS、またはネットワークでの接続については、「第7章 赤外線機能の使用」、またはコンピュータにインストールしたWindows CEサービスのヘルプの「接続方法」の項目を参照してください。

Windows NTワークステーションを使用する場合

[**スタート**]→[**設定**]→[**コントロール パネル**]→[**シリアル ポート**]の順に選択します。ハンドヘルドPCのためのCOMを、19200ボー、8データ ビット、1ストップ ビット、パリティなし、に設定します。詳しくは、コンパックのインターネット ホームページ（http://www.compaq.co.jp）のFAQを参照してください。

Windows 95を使用する場合

[**スタート**]→[**設定**]→[**コントロール パネル**]→[**システム**]→[**デバイス マネージャ**]→[**モデム**]→[COMx**上のシリアル ケーブル**]→[**プロパティ**]の順に選択します。（xはお使いのシステムの環境により異なります。）ハンドヘルドPCのためのCOMを、19200ボー、8データ ビット、1ストップ ビット、パリティなし、に設定します。

ステップ4：ハンドヘルドPCのコンピュータへの接続

Windows CEサービスをコンピュータにインストールして、通信ポートを設定したら、ハンドヘルドPCをコンピュータに接続できます。以下の手順に従って、ハンドヘルドPCを接続します。

注意：電源コードやケーブルの上には何も置かないでください。人に踏まれたり、歩行の妨げになったり、他の物ではさまれたりしないように配線してください。特に、電源プラグ、コンセント、およびデバイスとの接続部分に注意してください。

1. Auto-Sync（同期）ケーブルの16ピン側をハンドヘルドPCのシリアル コネクタ❶に接続します。
2. Auto-Syncケーブルの9ピン側をコンピュータのシリアル コネクタ❷に接続します。（コンピュータによっては、Auto-Syncケーブルを接続するために9ピン-25ピン変換アダプタが必要となる場合があります。）

ハンドヘルドPCのコンピュータへの接続

注：ハンドヘルドPCを最初にコンピュータに接続する場合は、**[新規パートナー関係のウィザード]**が画面に表示されます。画面の指示に従って操作してください。次に接続するときは、デフォルト設定のままでよければ、データは自動的に同期化されます。

重要：接続の設定とデータの同期化について詳しくは、『ハンドヘルドPC ユーザーズ ガイド』を参照してください。

ステップ5：Compaq Cシリーズ ソフトウェアのインストール

ハンドヘルドPCをコンピュータに接続したら、以下の手順に従って、コンパック提供のソフトウェアをインストールします。ソフトウェアには、コンピュータにインストールされるものと、ハンドヘルドPCにインストールされるものがあります。

1. コンピュータのCD-ROMドライブに、ハンドヘルドPCに付属の「Compaqソフトウェア CD」を挿入します。
2. CDに付属の説明およびコンピュータの画面に表示される指示に従って、コンパック提供のソフトウェアをインストールします。

重要：バッテリ電力の消費を抑えるため、ハンドヘルドPCをコンピュータに接続した場合は、外部電源を使用してください。

注：「Compaqソフトウェア CD」に収録されているすべてのソフトウェアをインストールする場合、モデルによりRAMの増設が必要となることがあります。RAMの容量が足りない場合は、別売のメモリ拡張ボードを取り付けるか、必要なソフトウェアのみを選択してインストールしてください。メモリ拡張ボードの購入については、コンパック製品販売店までお問い合わせください。

第3章

キーボードとスタイラス

Cシリーズ ハンドヘルドPCには、特殊な機能を実行するキーとボタンがあります。この章では、以下の機能について説明します。

- キーボード上の特殊キーとボタン
- スタイラス機能

キーボード上の特殊機能

キーボード上の特殊機能

番号	名称	機能
❶	電源ボタン	一度押すとハンドヘルドPCの電源が入ります。もう一度押すと電源が切れます
❷	デュアル輝度バックライト ボタン	輝度を調整して画面を見やすくできます。詳しくは、この章の「デュアル輝度バックライト ボタン」を参照してください
❸	[Fn]キー	[Fn]キーと数字キー（1以外）を同時に押すことにより、すぐにアプリケーションを起動できます このキーを押しながらバックライト ボタンを押すと、バックライトの輝度が変わります（モノクロ モデルのみ） [Fn]＋[Alt]キーを押すと、[**ガイド ツアー**]が起動します。
❹	コントラスト キー [<]、[>]	[Alt]＋[<]を押すと、コントラストが弱くなります [Alt]＋[>]を押すと、コントラストが強くなります [Alt]＋[<]＋[>]を押すと、コントラストが中程度に戻ります

次ページに続く

続き

番号	名称	機能
❺	[Alt]キー	[Alt]キーを押しながらコントラスト キーを押して、画面のコントラストを調整します [Alt]＋[Fn]キーを押すと、[**ガイド ツアー**]が起動します アプリケーションにより、特有の機能を持つことがあります
❻	[Windows]キー	このキーを押すと、[**スタート**]メニューが表示されます
❼	[Caps]キー	[Shift]キーと同時に押すと、[CapsLock]キーと同じ効果が得られます。 **注：**この機能が有効になっていると、タスクバーのステータス領域にアイコンが表示されます
❽	アプリケーション起動キー	[Fn]キーと同時に押すと、すぐにアプリケーションが起動します。詳しくは、次の「アプリケーション起動キー」の項目を参照してください

アプリケーション起動キー

アプリケーション起動キーを使用すると、多彩なプログラムをすぐに起動できるので便利です。プログラムを起動するには、[Fn]キーを押しながら、そのプログラムのアイコンの下にある数字キーを押します。（たとえば、[Fn]＋[2]を押すとPocket Wordが起動します。）アプリケーション起動キーで起動したプログラムの使用方法については、『ハンドヘルドPCユーザーズ ガイド』またはプログラムに付属しているオンライン ヘルプを参照してください。

以下に、アプリケーション起動キーと対応するアイコンおよびプログラムを示します。

[Fn]と同時に押すキー	アイコン	起動されるプログラム
2		Pocket Word
3		Pocket Excel
4		Pocket PowerPoint
5		カレンダー
6		アドレス帳
7		タスク
8		受信トレイ
9		インターネット
0		ボイス メモ

注：プログラムがすでに起動している場合、[Fn]キーとアプリケーション起動キーを同時に押すと、すぐにそのアプリケーションに切り替わります。

デュアル輝度バックライト ボタン

デュアル輝度バックライト ボタンを使用して、バックライトのオン/オフや輝度のレベルを切り替えることができます。輝度のレベルには、ノーマル レベルとハイ レベルがあります。バックライトとは、画面を明るくする光のことです。次の表に、ハンドヘルドPCのモデル別に、バックライトボタンの使用方法を示します。

機能	モノクロ画面モデル	カラー画面モデル
バックライト ボタンを押す	バックライトのオン/オフを切り替えます	バックライトの輝度をノーマル レベルとハイ レベルで切り替えます
[Fn]＋バックライト ボタンを押す	バックライトの輝度をノーマル レベルとハイ レベルで切り替えます。また、選択された輝度をデフォルトとして設定します	

バックライトのヒント

- バックライトを使用するとバッテリが消耗します。バッテリを節約するために、バックライトはできるだけ低輝度で、また必要なときだけ使用してください。
- バッテリを長持ちさせるため、バッテリまたは外部電源を使用するときにバックライトが自動的にオフになるようにデバイスを設定することができます。[**スタート**]→[**設定**]→[**コントロール パネル**]→[**画面**]→[**バックライト**]の順に選択して、必要な項目を設定します。
- キーを押すか画面に触れたときにバックライトが自動的にオンになるように設定するには、[**バックライト**]タブで[**詳細設定**]を選択して必要な項目を設定します。（モノクロ モデルのみ設定可能です。）

スタイラス（ペン）

ディスプレイに触れたり、リセット ボタンを押したりするときは、ハンドヘルドPCに付属のスタイラス（ペン）をお使いください。指先で押してもかまいませんが、多彩な機能で細かいポインティングを行なうには、スタイラスが必要です。スタイラスを使用するときのヒントを次に示します。

ハンドヘルドPCがスタイラスによるクリック（タップ）を認識できるように、ディスプレイが調整されているか確認してください。最初のセットアップ時に適切に調整されますが、使用中に再調整が必要になった場合は、[**スタート**]→[**設定**]→[**コントロール パネル**]→[**スタイラス**]の順に選択し、画面の指示に従って操作してください。

ヒント：調整用のウィンドウをすぐに開くには、[Windows]＋[i]キーを押します。

- スタイラス スロットからスタイラスを取り出すには、スタイラスを右にスライドさせます。
- スタイラスを元に戻すときは、スタイラスの背の部分を外側に向けて、ポイント（尖った方）から先に全体をスロットに差し込みます。
- ディスプレイをクリック（タップ）する場合は、スタイラスで軽く短時間ディスプレイに触れてください。スタイラスをディスプレイに触れたままにしたり、ディスプレイ上で滑らせたり、またはディスプレイに強く触れたりすると、正しく認識されない場合があります。
- ダブルクリック（ダブルタップ）する場合は、スタイラスで2回続けて軽く短時間ディスプレイに触れてください。
- アプリケーションで右クリックが必要な場合は、[Alt]キーを押しながらスタイラスでクリックします。
- クリックの速度と感度を調整するには、[**スタート**]→[**設定**]→[**コントロール パネル**]→[**スタイラス**]→[**ダブル タップ**]の順に選択し、画面の指示に従って操作してください。

注意：鍵やボールペンなど先の尖ったものは、ディスプレイを傷つけることがありますので、ディスプレイをクリックする場合には使用しないでください。

第4章

電源の使用

この章では、以下の項目について説明します。

- バッテリ電源の使用
- バッテリの交換
- 使用済みバッテリの廃棄
- AC電源の使用
- Cシリーズ ハンドヘルドPCのリセット

バッテリ電源の使用

Cシリーズでは、次の2種類のバッテリ電源を使用します。

- メイン バッテリ（2本の単三アルカリ乾電池（モノクロ モデルのみ）またはニッケル水素（NiMH）バッテリ パック）
- バックアップ バッテリ（CR2032リチウム ボタン電池）

メイン バッテリは、ハンドヘルドPCが外部電源に接続されていない場合に、ハンドヘルドPCに電力を供給します。バックアップ バッテリは、出荷時にハンドヘルドPC本体に装着されており、メイン バッテリが消耗したり、交換のために一時的に取り出されたりした場合に、保存されているデータを保護します。

重要：メイン バッテリは、出荷時にはハンドヘルドPC本体に装着されていません。ハンドヘルドPCを使用する前に、このガイドの第1章を参照してメイン バッテリを取り付けてください。

注意：ハンドヘルドPCを外部電源に接続していない場合、メイン バッテリおよびバックアップ バッテリが両方とも消耗してしまうと、データ、設定内容、およびユーザがインストールしたプログラムがすべて失われ、工場出荷時の状態に戻ってしまいます。ハンドヘルドPCを長時間使用しない場合は、バッテリ残量に注意してください。また、必要なデータなどのバックアップを定期的にとることをおすすめします。

バッテリ電源レベルのチェック

メイン バッテリとバックアップ バッテリのおおよその残量をチェックするには、[**スタート**]→[**設定**]→[**コントロール パネル**]→[**パワー マネージメント**]→[**バッテリ**]の順に選択します。

注：[**状態**]に表示されるバッテリの残量はおおよその値です。実際の電源レベルは、Cシリーズの使い方や動作条件により異なります。なお、[**前回メイン バッテリを交換した日**]、[**メイン バッテリの使用時間総計**]、および[**メイン バッテリの残量比率**]は、[**サポートなし**]と表示されます。

バッテリ寿命に影響を与える要因については、この章の「バッテリ電源の節約」を参照してください。

ロー バッテリ時の表示

ハンドヘルドPCでは、ロー バッテリによるデータの損失を防ぐため、以下の場合にアイコンやメッセージを表示して注意をうながします。

- バッテリ レベルが低下してくると、ロー バッテリ状態を表すアイコンが表示されます。
- バッテリ残量がわずかになると、警告メッセージが表示されます。
- バッテリ残量がなくなりハンドヘルドPCを使用できなくなると、最終警告メッセージを表示して、すべてのデータをメモリに保存した後、電源が切れます。

ロー バッテリ アイコン

Cシリーズでは、バッテリ レベルが低下してくると、タスクバーのステータス領域に状況に応じたバッテリ アイコンが表示されます。ロー バッテリ アイコンまたは完全なロー バッテリ アイコンが表示されたら、データを保存してハンドヘルドPCの電源を切り、できるだけ早く古いバッテリを新しいバッテリと交換してください。

ロー バッテリ警告メッセージ

バッテリ レベルが低下したまま作業を続けると、バッテリ残量が非常に少なくなったときに、警告メッセージが画面に表示されます。すぐに必要なデータを保存して次のどちらかの操作を行ってください。

- ハンドヘルドPCの電源を切り、バッテリを交換する。
- 新しいバッテリを取り付けるまで、ACアダプタをハンドヘルドPCに接続する。

注意：メモリに保存されているデータの損失を防ぐために、バックアップ バッテリが完全に放電してしまわないようにしてください。バックアップ バッテリがロー レベルであることが表示されたら、すぐにバックアップ バッテリを交換してください。

メイン バッテリとバックアップ バッテリを同時に交換しないでください。同時に交換すると、データ、設定内容、およびユーザがインストールしたプログラムが失われます。

ロー バッテリ シャットダウン

ハンドヘルドPCの操作に十分な電力がメイン バッテリになくなると、最終警告メッセージが表示されて、ハンドヘルドPCが使用不可能になり電源が切れることを通知してきます。このメッセージの後、すべてのデータがメモリに保存されてから自動的に電源が切れます。新しいバッテリを取り付けるか、外部電源に接続してから作業を再開してください。

バッテリ電源の節約

バッテリを最大限長持ちさせるには、Cシリーズの使用時に以下の点に注意してください。

- **PCカードを使用する場合は外部電源に接続する。**
  PCカード モデムやその他のPCカードは、動作中に大きな電力を消費しますので、バッテリはすぐに消耗してしまいます。PCカードの使用時は、できるだけAC電源または自動車からの電源を使用してください。
- **どうしてもバッテリ電源を使用しなければならないときは、PCカードの使用を短時間にする。**
  バッテリ電源を使用する場合は、PCカードを使用する時間をなるべく短くし、使用しないときはPCカードをPCカード スロットから取り出してください。
- **通信機能を使用したり外部装置と接続したりする場合は、外部電源を使用する。**
  拡張接続（モデム、シリアル ポート、またはIRポートを介した通信）をすると、バッテリがすぐに消耗してしまいます。ハンドヘルドPCでこれらの機能を使用する場合は、ACアダプタを使用して外部電源に接続してください。
- **バックライトの使用を制限する。**

  バッテリ電源で動作するときは、バックライトをなるべく使用しないようにします。

  バッテリ電源で動作するときにバックライトを使用する場合は、画面が見える必要最小限のレベルに輝度を設定します。

  [**コントロール パネル**]から表示させる[**画面のプロパティ**]で、バッテリ電源で動作するときに自動的にバックライトをオフにするように設定します。

■ **オートサスペンド時間を短くする。**

デフォルトではキーボードとスタイラスを3分間使用しないと、ハンドヘルドPCはバッテリ電源を節約するために自動的にサスペンド モードになります。このサスペンドが起動するまでのアイドル時間を変更するには、以下の手順で操作します。

1. [**スタート**]→[**設定**]→[**コントロール パネル**]→[**パワー マネージメント**]の順に選択します。
2. [**電源オフ**]タブで、サスペンドまでのアイドル時間の設定を変更します。

注：ハンドヘルドPCは、モデム、シリアル ポート、または赤外線（IR）ポートを介して通信している間は、自動的にはサスペンドを起動しません。

■ **外部電源の使用時にサスペンドを有効にする。**

デバイスがAC電源または自動車の電源に接続されているときに自動的にサスペンドが起動されるように設定するには、以下の手順で操作します。

1. [**スタート**]→[**設定**]→[**コントロール パネル**]→[**パワー マネージメント**]の順に選択します。
2. [**電源オフ**]タブで、該当するチェック ボックスにチェックマークを付けます。

■ **サウンドをオフにする。**

[**スタート**]→[**設定**]→[**コントロール パネル**]→[**ボリューム＆サウンド**]→[**ボリューム**]の順に選択して、必要のないサウンド イベントをオフにします。

バッテリの交換

けがや火災、Cシリーズ ハンドヘルドPCの損傷を防ぐため、バッテリを交換する場合は以下の点に注意して正しく取り扱ってください。

- ハンドヘルドPCに乾電池を取り付けるときは、極性（＋と－）が正しいことを確認してください。
- 古い乾電池と新しい乾電池を混ぜて使用しないでください。
- この章に記載されている種類のバッテリのみを使用してください。
- [**コントロール パネル**]の[**パワーマネージメントのプロパティ**]で頻繁にバッテリ状態をチェックしてください。メイン バッテリとバックアップ バッテリのレベルが両方とも残り少なくなった場合、メモリに保存されているデータが壊れたり失われたりすることがあります。

重要：バッテリを交換する前にデータをバックアップすることをお勧めします。データ バックアップの方法について詳しくは、「第8章 コンパック提供のソフトウェアの使用」の「バックアップ/リストア ユーティリティの使用」を参照してください。

メイン バッテリの交換

モノクロ モデルをお使いの場合は、メイン バッテリとして単三アルカリ乾電池2本またはモノクロ モデル用ニッケル水素（NiMH）バッテリ パック（製品番号314508）を使用できます。カラー モデルをお使いの場合は、単三アルカリ乾電池は使用できません。カラー モデル用ニッケル水素（NiMH）バッテリ パック（製品番号327596）をメイン バッテリとして使用してください。

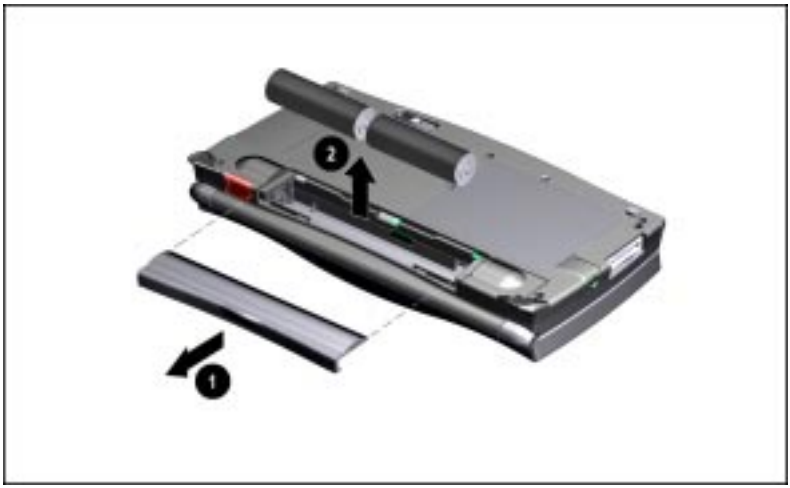
警告：このハンドヘルドPCでは、メイン バッテリとして、単三アルカリ乾電池（モノクロ モデルのみ）またはニッケル水素（NiMH）バッテリ パックを使用できます。化学薬品による火傷や発火の恐れがありますので、バッテリ パックや乾電池をつぶしたり、穴を開けたりすることは絶対におやめください。また、接点をショートさせたり、水や火の中に捨てたり、60ºCを超える高温の場所に保管したりしないでください。バッテリ パックや乾電池を開けたり、修理したりすることもおやめください。

注意：メイン バッテリとバックアップ バッテリを同時に取り外さないでください。同時に取り外すと、データ、設定内容、およびユーザがインストールしたプログラムが失われます。

ヒント：データの損失を防止するために、新しいバッテリを手元に用意してから古いバッテリを取り出してください。また、バッテリを取り出す前にデバイスを外部電源に接続しておいてください。

以下の手順に従って、メイン バッテリを交換します。

1. 作業内容を保存します。
2. 電源ボタンを押してハンドヘルドPCの電源を切ります。
3. ハンドヘルドPCのディスプレイを閉じて、ハンドヘルドPCを裏返しにします。
4. メイン バッテリ カバーをスライドさせてバッテリ コンパートメントから外し❶、バッテリ ホルダからバッテリを取り出します❷。

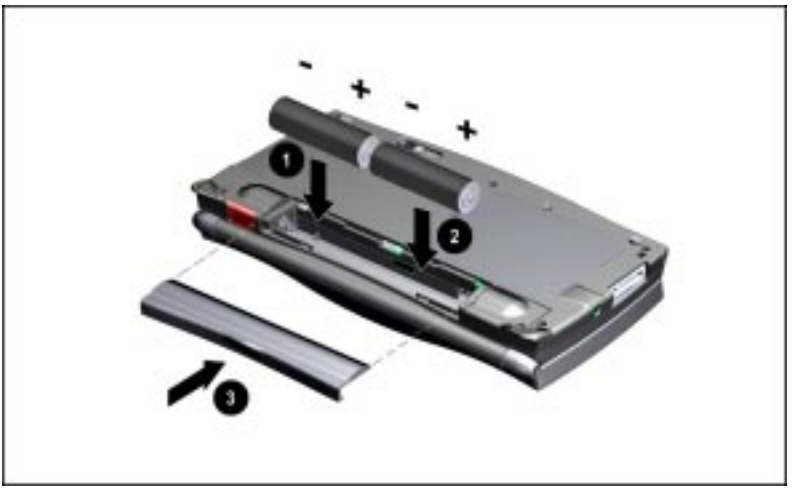


古いメイン バッテリの取り出し

5. 次のどちらかの作業を行ないます。

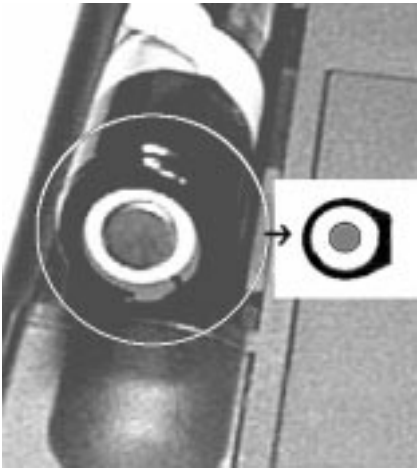
単三アルカリ乾電池を取り付ける場合は、下記の図を参照して作業してください。乾電池のプラスとマイナスが正しい方向にあることを確認してください。

注意：カラー ディスプレイを装備したモデルのCシリーズの場合は、コンパックで認定したCシリーズ カラー モデル用のニッケル水素（NiMH）バッテリ パック（製品番号327596）を使用してください。**単三アルカリ乾電池は使用しないでください**。



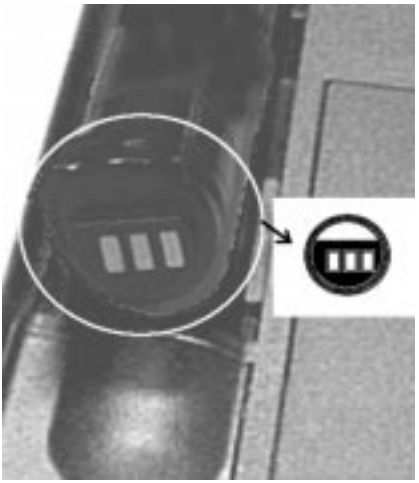
新しいアルカリ乾電池の取り付け

■ ニッケル水素（NiMH）バッテリ パックを装着する場合は、お買い上げいただいたハンドヘルドPCのモデルによりバッテリ パックの形状および装着方法が異なりますので、以下の説明をお読みになり、正しくお使いくださいますようお願いいたします。



モノクロ モデルには、ニッケル水素（NiMH）バッテリ パックは標準では付属していません。別売のバッテリ パック（製品番号：314508）を使用する場合は、左図および下図を参照して、**バッテリ パックの平らな面を本体の内側**（左図では右側）**に向け**、バッテリ パック側面の金属部分がコンパートメント内の本体内側の接点に正しく接するように装着してください。正しく装着しないとバッテリ パックが充電されませんので注意してください。

ニッケル水素（NiMH）バッテリ パックの取り付け
（モノクロ モデル：バッテリ パック製品番号314508**）**



カラー モデルにはカラー モデル用ニッケル水素（NiMH）バッテリ パック（製品番号：327596）が標準で付属しています。左図および下図を参照して、**バッテリ パックの接点とバッテリ コンパートメント内の接点が正しく接するように**装着してください。また、予備のバッテリ パックを購入される場合は、製品番号327596のカラー モデル用のバッテリ パックをご指定ください。

ニッケル水素（NiMH）バッテリ パックの取り付け（カラー モデル：バッテリ パック製品番号327596）

6. ニッケル水素（NiMH）バッテリ パックを使用する場合は、ACアダプタを使用してハンドヘルドPCをAC電源に接続し、バッテリ パックを充電します。バッテリ パックを完全に充電するには、約3時間かかります。単三アルカリ乾電池を使用する場合は、ステップ7に進みます。
7. ハンドヘルドPCを元の向きに置きなおしてディスプレイを開け、電源ボタンを押して操作を再開します。

バックアップ バッテリの交換

ハンドヘルドPCには、出荷時にCR2032リチウム ボタン電池（最寄りの販売店でも購入可能）がバックアップ バッテリとして取り付けられています。このバックアップ バッテリにロー バッテリの兆候（タスクバーのステータス領域にロー バッテリ アイコンが表示されるなど）が現れたら、できるだけ早く交換してください。

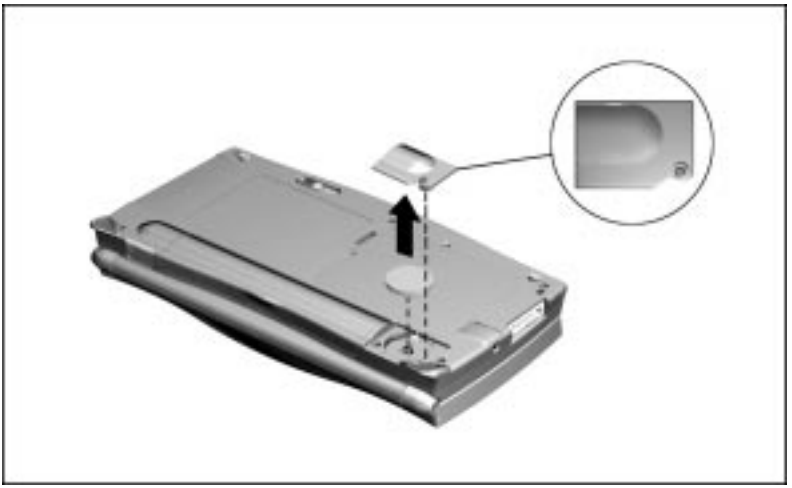
警告：このハンドヘルドPCの内部には、リアルタイム クロック回路用のリチウム バッテリが取り付けられています。バッテリを間違えて交換したり、正しく取り扱わなかったりすると、バッテリが爆発してけがをする恐れがあります。このバッテリを充電または分解したり、水や火の中に捨てたり、60ºCを超える高温の場所に保管したりしないでください。また、このバッテリを開けたり、修理したりすることもおやめください。バッテリを交換する場合は、必ず同じ種類のバッテリを使用してください。

注意：メイン バッテリとバックアップ バッテリを同時に取り外さないでください。同時に取り外すと、データ、設定内容、およびユーザがインストールしたプログラムが失われます。

以下の手順に従って、バックアップ バッテリを交換します。

1. 作業内容を保存します。
2. 電源ボタンを押してハンドヘルドPCの電源を切ります。
3. ハンドヘルドPCのディスプレイを閉じて、ハンドヘルドPCを裏返しにします。
4. 小型のプラス ドライバを使用してバックアップ バッテリ コンパートメント カバーのネジを緩めます。

5. カバーと古いバッテリを取り出します。

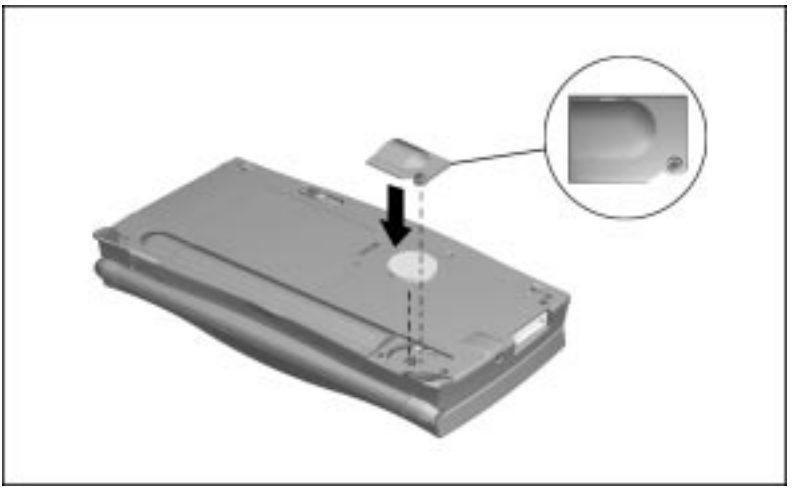


古いバックアップ バッテリの取り出し

注：バッテリが取り出し難い場合は、クリップを伸ばしたような金属の棒を手前の穴に挿し込んで押し上げてください。

6. 新しいバックアップ バッテリの表面を柔らかい布でふいてから、プラス (+) を上にしてバックアップ バッテリ コンパートメントに取り付けます。

7. カバーを取り付け、ネジを締めます。



新しいバックアップ バッテリの取り付け

8. ハンドヘルドPCを元の向きに置きなおしてディスプレイを開け、電源ボタンを押して操作を再開します。

使用済みバッテリの廃棄

使用済みのバッテリ パックや乾電池を廃棄する場合は、お住まいの地域の地方自治体の規則または条例に従って、公共の収集システム等を利用してください。

バッテリの取り扱いについては、「付録C 規定に関するご注意」を参照してください。

AC電源の使用

ハンドヘルドPCは、付属のACアダプタを使用して、AC電源のコンセントに接続できます。ハンドヘルドPCは、ACまたはその他の外部電源（自動車の電源など）に接続した場合も、バッテリ電源を使用している場合と同様に作動します。ハンドヘルドPCが外部電源に接続されているときは、タスクバーのステータス領域にプラグ アイコンが表示されます。

警告：感電、火災、装置への損傷などを防止するため、ハンドヘルドPCをAC電源に接続するときに、家電製品用に販売されている電圧コンバータは使用しないでください。

注：ニッケル水素（NiMH）バッテリ パックを使用している場合、ハンドヘルドPCを外部電源に接続すると自動的にバッテリが充電されます。バッテリ パックの充電中は、オレンジ色のランプが点灯し、バッテリ充電アイコンがタスクバーのステータス領域に表示されます。

AC電源への接続

ハンドヘルドPCをAC電源に接続する場合は、前もって電源を切る必要はありません。以下の手順に従って、AC電源に接続します。

注意：ACアダプタはハンドヘルドPCの近くの抜き差しのしやすいACコンセントに接続してください。ハンドヘルドPCの電源を切るときは、ACアダプタもコンセントから抜いてください。

1. ACアダプタ ケーブルの一方の端をハンドヘルドPCのACコネクタに接続します❶。
2. ケーブルのもう一方の端をACコンセントに接続します❷。

AC電源への接続

ハンドヘルドPCは、動作を中断せずに自動的にAC電源に切り替わります。

Cシリーズ ハンドヘルドPCのリセット

システムがハングアップしたり、異常がどうしても解決できない場合は、ハンドヘルドPCを完全にリセットしてから再起動する必要があります。Cシリーズには、ノーマル リセットとフル リセットという2通りのリセット方法があり、そのときの状況に応じて使い分けます。ノーマル リセットは、すでにメモリに保存されているデータには影響を与えないのに対し、フル リセットはメモリの内容と設定を消去します。

ノーマル リセットの実行

ノーマル リセットは、[Ctrl]＋[Alt]＋[Del]キーによるコンピュータの再起動のと同様に、ハンドヘルドPCを再起動します。以下の手順に従って、ノーマル リセットを行います。

1. 作業内容を保存します（可能な場合）。

   重要：電源ボタンを押して電源を切らないでください。リセットを行うには、ハンドヘルドPCの電源が入っていなければなりません。

2. ディスプレイを閉じて、ハンドヘルドPCを裏返しにします。

リセット ボタンを押す

3. スタイラスの先端でリセット ボタンを押します。
4. ハンドヘルドPCは自動的に再起動します。

フル リセットの実行

フル リセットは、ハンドヘルドPCを再起動し、データ ファイルやシステム設定などメモリに保存されているデータをすべて消去します。

注：Cシリーズに付属のバックアップ/リストア ユーティリティを使用してデータを保存してある場合は、フル リセットを行った後で保存しておいたデータを復元することができます。バックアップ/リストア ユーティリティの使用方法について詳しくは、「第8章 コンパック提供のソフトウェアの使用」を参照してください。

以下の手順に従って、フル リセットを行います。

1. 外部電源を使用している場合は、ハンドヘルドPCからACアダプタを取り外します。
2. ディスプレイを閉じて、ハンドヘルドPCを裏返しにします。
3. メイン バッテリとバックアップ バッテリを両方とも取り外します。
4. 少なくとも5分待ってから、両方のバッテリを元どおりに取り付けます。
5. ハンドヘルドPCを元の向きに置きなおしてディスプレイを開き、電源ボタンを押してハンドヘルドPCを再起動します。
6. セットアップ ウィザードを再度実行して、システムをセットアップし、設定を調整し直します。

注：Compaqフラッシュ マネージャ ユーティリティを使用してデータを保存してある場合は、保存されているデータの復元を要求するプロンプトが表示されます。データを復元する場合は、**[はい]**をクリックしてください。

第5章

モデムの使用

Cシリーズ ハンドヘルドPCには、アナログ電話回線（ほとんどの家庭やオフィスで使用される電話回線の種類）を介してダイヤルアップ接続を行うためのモデムを装備しているモデルもあります。モデムを使用して、電子メールを送受信したり、インターネットで探索したり、ファクシミリを送信したり、またはその他のサービスに接続したりすることができます。一部の操作では、市販のソフトウェアまたはハードウェアなどの追加インストールが必要となることがあります。

お買い上げいただいたＣシリーズ ハンドヘルドPCの識別用シリーズ番号については、「付録C 規定に関するご注意」を参照してください。

注：モデムが内蔵されていないモデルの場合は、PCカード モデムまたは外付けモデムを使用して、モデムを必要とする操作を行うことができます。ハンドヘルドPCでPCカードを使用する方法について詳しくは、「第6章 PCカードの使用」を参照してください。

モデムおよびモデムを使用しての通信に関する規格は、国または地域により異なります。

日本国内でお買い上げいただいたCシリーズ ハンドヘルドPCは、日本国内で使用するための仕様となっており、搭載されている内蔵モデムは国外ではご使用いただけません。

国外でモデムをご使用になる場合は、使用する国の規格に適合した市販の外付けカード モデムを別途ご購入いただく必要があります。なお、カード モデムは電力を大量に消費しますので、ハンドヘルドPCを外部電源に接続してお使いください。

モデムの使用に関するご注意

モデムや電話機（コードレス タイプを除く）を安全に使用するために、必ず以下のガイドラインに従ってください。

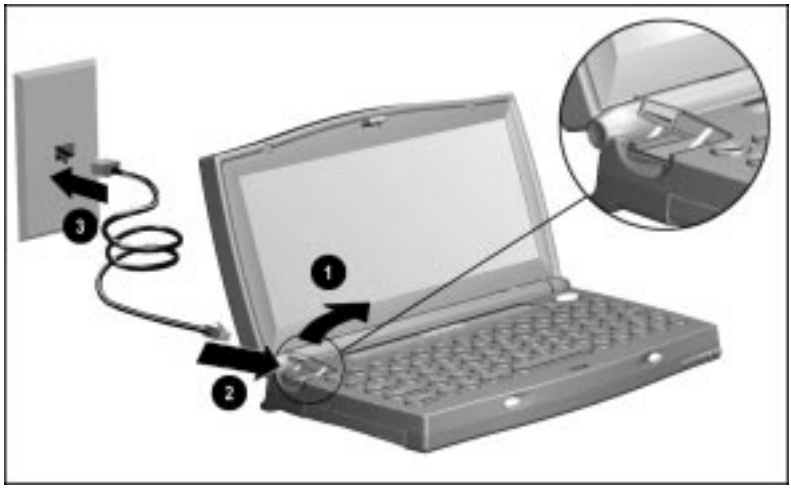
警告：火傷や感電、火災を防ぐため、必ず以下の注意事項を守ってください。

- 雷が鳴っているときは、モデムや電話を使用しないでください。落雷による感電の恐れあります。
- 湿気の多い場所では、モデムや電話を使用しないでください。
- モデムや電話は、ガス漏れの発生を通報する場合には使用しないでください。
- 装置を開けたり、絶縁されていないモデム ケーブル、コネクタ、または内部部品に触れたりする場合は、必ず電話のケーブルを抜いてから作業を行ってください。

モデムの接続

以下の手順に従って、内蔵モデムを接続します。

1. モデム コネクタのカバーを持ち上げます❶。カバーには電話のアイコンがついています。
2. ハンドヘルドPCに付属のモデム ケーブルの一方の端をモデム コネクタに差し込みます❷。
3. モデム ケーブルのもう一方の端をアナログ電話ジャックに差し込みます❸。



モデムの接続

4. **[スタート]**→**[プログラム]**→**[通信]**→**[リモート ネットワーク]**→**[モデムの選択]**の順に選択し、ドロップダウン リストから**[内蔵モデム**COM4]を選択してダイヤルアップ接続を設定します。

注：ダイヤルアップ接続に必要なソフトウェアとCOMポートの情報については、コンピュータにインストールしたWindows CEサービスのヘルプを参照してください。

ダイヤルアップ接続時の問題については、第10章の「モデムに関するトラブル」、または『ハンドヘルドPCユーザーズ ガイド』のトラブルシューティングを参照してください。

外付けモデム

ハンドヘルドPCにモデムが内蔵されていない場合、またはPCカード モデムがない場合に、外付けモデムを使用できます。外付けモデムを使用すれば、他のモデムを使用した場合よりもバッテリの消耗を少なくすることができます。

外付けモデムの接続

外付けモデムを使用する場合は、ヌル モデム ケーブルと9ピン-25ピン変換アダプタが必要です。以下の手順に従って、外付けモデムをハンドヘルドPCに接続します。

1. Cシリーズを外部電源に接続して、Auto-Sync（同期）ケーブルをハンドヘルドPCに接続します。9ピン側（通常はコンピュータに接続）は接続しないでおいてください。
2. ヌル モデム ケーブルの9ピン側をAuto-Syncケーブルの9ピン側の端に接続します。

   重要：この接続では、ヌル モデム ケーブルのみを使用してください。
3. ヌル モデム ケーブルのもう一方の端を9ピン-25ピン変換アダプタに接続してからモデムに接続します。
4. モデムを外部電源に接続します。

外付けモデムの設定と使用

ハンドヘルドPCで外付けモデムを使用する場合は、ダイヤルアップ接続を設定する前にモデムの電源が入っていることを必ず確認してください。一部のPCカード モデムとは異なり、このハンドヘルドPCは特定のタイプの外付けモデムを認識しません。外付けモデムは、COM1の汎用モデムとしてのみ認識されます。

モデムによるインターネット接続

以下の手順に従って、ハンドヘルドPCからインターネットに接続します。

1. モデムの接続と設定を行います。
2. インターネット サービス プロバイダ（ISP）のプロファイルを設定します。
3. [**スタート**]→[**プログラム**]→[**通信**]→[**リモート ネットワーク**]→[**モデムの選択**]の順に選択し、ドロップダウン リストから[**内蔵モデム**COM4]を選択してダイヤルアップ接続を設定します。
   各設定値は、インターネット サービス プロバイダ（ISP）からの情報に従って設定してください。

インターネットのブラウジング

ハンドヘルドPCでのインターネットのブラウジングは、コンピュータの場合とは異なっています。Cシリーズでインターネットをより効果的に使用するためのヒントを次に示します。

画面でウェブ ページの全体を見るには、画面上の垂直および水平スクロールバーをクリックします。

Cシリーズは大容量のグラフィックスをサポートしていません。ブラウジング時のトラブルを避けるために、Pocketインターネット エクスプローラの[**画像の表示**]オプションを無効にしておいてください。これにより、グラフィックスを含むウェブ ページを開いても、グラフィックスは表示されなくなります。

インターネット サービス プロバイダにより、Windows CEのサポートやWindows CEを使用した場合のパフォーマンスは異なります。インターネットへのアクセスに問題がある場合は、サービス プロバイダに連絡して、Windows CE 2.0オペレーティング システムがサポートされているか確認してください。

インターネットのアクセスについて詳しくは、コンピュータにインストールしたWindows CEサービスのヘルプを参照してください。

モデムの通信速度について

Compaq Cシリーズ ハンドヘルドPCでは、CPU内部にてモデム機能を実現するソフトウェア モデムを採用しており、最高33.6Kbpsまでの通信速度に対応しています。ただし、出荷時には、Pocketインターネット エクスプローラなど多量の画像処理を行うアプリケーションをご使用になる場合にCPUの処理速度が最も適切になるようにモデムの通信速度を設定しています。

通信速度を変更する場合は、[**新しいダイヤルアップ接続**]→[**モデムの設定**]→[**呼び出しのオプション**]→[**追加設定**]の順に選択し、「**S51=31**」と入力してください。

第6章

PCカードの使用

Cシリーズ ハンドヘルドPCには、クレジット カード サイズのオプション装置であるPCカード（PCMCIAカード）を接続する機能が装備されています。PCカードにより、ハンドヘルドPCでモデム、ネットワーク、ATAフラッシュ メモリ、VGA、その他の機能が使用できるようになります。また、PCカードは小さくて軽いので、持ち運びに便利です。

サポートされるPCカード

PCカードには、Type I、Type II、および Type III の3種類があり、それぞれ厚さが異なります。ハンドヘルドPCのPCカード スロットには、Type I またはType IIの16ビットのPCカードを装着できます。

一部のPCカードは大量の電力を消費します。PCカードによりバッテリが消耗すると、Cシリーズはデータの損失を防ぐために自動的に電源を切ります。

CシリーズでPCカードを使用する場合は、次のようにしてバッテリの消耗を防いでください。

- ハンドヘルドPCを外部電源に接続します。
- 電力消費が少ない低電圧のPCカードを使用します。

注：PCカードが対応しているオペレーティング システムなどPCカードの仕様については、カードの製造販売元にお問い合わせください。

PCカード ソフトウェア

このハンドヘルドPCは、Windows CEに対応している多種類のPCカードを自動的に認識します。PCカードの製造販売元から提供されたカード固有のデバイス ドライバをインストールするよう指示された場合は、必ずWindows CEのデバイス ドライバのみをインストールしてください。カード サービスやソケット サービスまたはイネーブラはインストールしないでください。ソフトウェアのインストール方法がよくわからない場合は、PCカードの製造販売元にお問い合せください。

操作上の注意

- ハンドヘルドPCのバッテリがロー レベルになっているときは、データが失われる可能性がありますので、PCカードにデータを保存しないでください。バッテリに十分な電力があることを確認するか、または外部電源に接続してから、データを保存してください。
- データが失われることがありますので、PCカードが動作（データ保存など）を行っている間は、ハンドヘルドPCの電源を切らないでください。
- データが失われることがありますので、動作中のPCカードは、取り出さないでください。
- PCカードをほこりや湿気のある所においたり、濡らしたりしないでください。
- 使用していないPCカードは、必ず保護用のケースなどに保管してください。

PCカードの挿入

以下の手順に従って、PCカードを挿入します。

1. PCカードの68ピン コネクタ側を内部に向けて、また矢印のラベルを上向きにしてPCカード スロットに挿入します。
2. PCカードがスロットにはまるまで押し込みます。PCカードは、正しく挿入すればすぐに使用できます。

注意：PCカードをスロットに無理に押し込むと、スロットを破損することがあります。

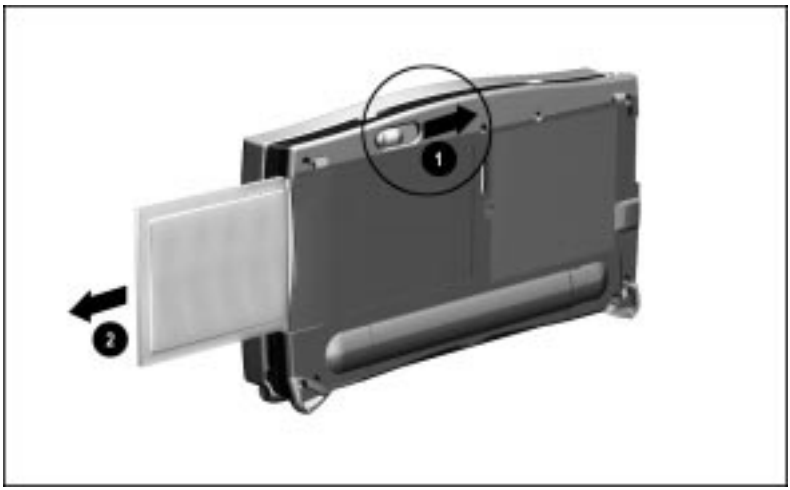
PC**カードの挿入**

PCカードの取り出し

PCカードは、ハンドヘルドPCの動作を停止しなくてもスロットから取り出すことができます。ただし、PCカードの取り出しは、PCカードの動作完了後に行なってください。

以下の手順に従って、PCカードを取り出します。

1. ハンドヘルドPCの裏面のイジェクト レバー❶をPCカード スロットとは反対の方向にスライドさせて、PCカードを外します。
2. PCカードをカード スロット❷から取り出します。



PCカードの取り出し

第7章

赤外線機能の使用

Cシリーズ ハンドヘルドPCには赤外線（IR）ポートが装備されており、便利なワイヤレス通信でデータを送受信することができます。赤外線を利用することにより、ハンドヘルドPC背面のレンズを通して、コンピュータ、プリンタ、および別のハンドヘルドPCなど、赤外線機能を装備した他のデバイスとの相互通信用リンクを確立します。

赤外線機能

赤外線接続の確立

赤外線接続の確立は、次の手順で行ないます。

ステップ1：ソフトウェアの設定

ステップ2：赤外線デバイスの設定

ステップ3：情報の転送

ステップ1：ソフトウェアの設定

送信および受信側デバイスにおけるIR通信用ポートの設定方法については、コンピュータにインストールされているWindows CEサービスのヘルプの「赤外線ポートの接続」を参照してください。

注：赤外線通信を行う場合は、接続先のパートナーPCに、ハンドヘルドPCに付属の「デスクトップ ソフトウェアfor Microsoft Windows CE」CDに収録されている赤外線通信用ドライバをインストールする必要があります。ポータブル コンピュータなどにあらかじめインストールされている赤外線通信用のドライバでは正常に動作しませんのでご注意ください。パートナーPCへのドライバのインストール方法については、「デスクトップ ソフトウェアfor Microsoft Windows CE」CDの¥Optional Components ¥Windows 95 Infrared Support software¥DOSV¥に収録されているRelnotes.docおよびInfrared.txtファイルを参照してください。

ステップ2：赤外線デバイスの設定

ハンドヘルドPCと他のIrDA互換デバイス間でIR通信の準備を行う場合は、次のことに注意してください。

- 双方のデバイスの赤外線ポートが使用可能になっていることを確認してください。互いのポートを、5cm以上1m以内の距離で向き合わせてください。
- ポートどうしを30º以上（中心線から15º以上）ずらさないでください。
- ポートとポートの間には何も置かないでください。
- ハンドヘルドPCのディスプレイを全開状態にしないでください。全開にすると、赤外線ポートを塞ぐことがあります。

- 蛍光灯などの光が赤外線通信に干渉する場合があります。その場合は、蛍光灯を消すか、別の照明のある場所に移動してください。また、赤外線ポートに直射日光や蛍光灯、フラッシュなどの光が直接当たらないようにしてください。
- 他のハンドヘルド デバイスに送信するときは、送信を開始する前に受信側デバイスで**[ファイル]**→**[受信]**の順に選択します。
- コンピュータまたは他のハンドヘルドPCに送信する場合は、各デバイスが固有のコンピュータ（マシン）名を持っていることを確認してください。コンピュータ名の割り当て方法については、使用しているオペレーティング システムのオンライン ヘルプを参照してください。
- 一度に複数のファイル（または25枚を越えるアドレス カード）を転送しないでください。

ステップ3：情報の転送

このハンドヘルドPCは、Windows CEをインストールした他のコンピュータまたはハンドヘルド デバイスに情報を転送することができます。

デバイスの設定が完了している場合、以下の手順に従って、Cシリーズからファイルを転送します。

1. ファイルを送信する側のデバイスでWindows CEのエクスプローラを起動し、転送するファイルを選択します。
2. **[ファイル]**→**[送る]**→**[赤外線の受信先]**の順に選択すると、転送が開始されます。画面にダイアログ ボックスが表示されて、ファイルの送信状態が示されます。
3. ファイルを受信する側のデバイスでWindows CEのエクスプローラを起動し、**[ファイル]**→**[受信]**の順に選択します。データの転送中は、画面にダイアログ ボックスが表示されます。
   転送されたファイルは、Windows CEのエクスプローラのルート フォルダに格納されます。

注：デバイス間に赤外線接続が確立しても、情報の転送を開始するまでに、数回の試行が必要な場合があります。

第8章

コンパック提供のソフトウェアの使用

この章では、Cシリーズ ハンドヘルドPCに添付されているコンパック提供のアプリケーションについて説明します。コンパック提供のアプリケーションには、Cシリーズにプリインストールされているものと、Compaq CDからインストールされるものがあります。アプリケーションのインストール方法については、第2章の「ステップ5: Compaq Cシリーズ ソフトウェアをインストールする」を参照してください。アプリケーションの使用方法については、この章を読むか、各アプリケーションに付属しているオンライン ヘルプを参照してください。

[**デスクトップ**]の[My Documents]**から**[**アップデート情報**]を選択すると、このガイドには記載されていない、お使いのCシリーズ ハンドヘルドPCに関するアップデート情報が確認できます。

注：アップデート情報がない場合は、画面に[**アップデート情報**]は表示されません。

重要：コンパック提供のアプリケーションをインストールする前に、Microsoft Windows CEサービスをパートナーPCにインストールする必要があります。このガイドの第2章を参照して、パートナーPCにWindows CEサービスをインストールしてください。

ボイス メモの使用

ボイス メモ アプリケーションは、Windows CEのエクスプローラでデータファイルを管理するのと同様に、ボイス メッセージを録音、再生、管理することができます。

ハンドヘルドPCは、録音されたボイス メッセージを自動的に.WAV形式で保存しますが、他のファイル形式で保存することも可能です。次に、ボイス メモ ファイルのファイル形式と特長を簡単に示します。

ファイル形式	再生品質	ファイル サイズ
.VSELP	劣る	小さい
.GSM	普通	普通
.WAV	優れている	大きい

録音する前にフォーマットを選択する場合は、[**ボイス メモ**]ツールバーから[**ツール**]を選択し、次に[Wav]、[Vselp]、または[Gsm]を選択します。

すでに録音してあるボイス メモ ファイルを別のファイル形式に変換する場合は、[**ツール**]→[**変換**]→[Wav]、[Vselp]、または[Gsm]の順に選択します。

注：変換できないファイル形式はグレーで表示され、選択できません。

メッセージの録音

以下の手順に従って、ボイス メッセージを録音します。

1. ハンドヘルドPCの前面左側の録音ボタンを押し続けます。
2. ビープ音が聞こえたら、マイクに向かって話します。
3. 録音が終わったら、録音ボタンを離します。

アプリケーション起動キー（[Fn]＋[0]）でボイス メモを起動して、メッセージを録音することもできます。ボイス メモが起動したら、画面の一番上の[**録音**]ボタンをクリック、またはツールバーから[**コントロール**]→[**録音**]の順に選択して録音を開始します。終わったら、[**録音終了**]をクリックします。

注：ボイス メッセージは、ディスプレイが開いていても閉じていても録音できます。ディスプレイを開いていると、録音可能時間とメモリ サイズ、および録音に使用できるメモリ スペースを示すメッセージが画面に表示されます。この情報を使用して、録音するための十分な空きスペースがあることを確認してください。ハンドヘルドPCは、メモリ スペースを使いきると、録音を中断し、エラー メッセージを表示します。

重要：1つのメッセージの録音可能時間は、最長10分間です。録音できる合計時間は、メモリに残っている空きスペースに依存します。

メッセージの再生

以下の手順に従って、録音済みのメッセージを再生します。

1. ボイス メモ アプリケーションを開きます。
2. [**ボイス メモ**]ウィンドウの左側の領域でフォルダを開き、再生するファイルを選択します。

   注：デフォルト設定では、新たに録音されたメッセージはすべて、[**新しいメモ**]フォルダに保存されます。
3. ツールバー上の[**再生**]ボタンをクリックするか、またはファイル名をダブルクリックしてメッセージを再生します。

メッセージの管理

ボイス メッセージは、Windows CEのエクスプローラのファイルと同様に管理できます。つまり、フォルダを作成したり、ドラッグ アンド ドロップしたりして、表示、名前の変更、削除、またはコピーなどのメッセージの管理を簡単に行えます。

オーディオ レベルの調整

録音の前または後でオーディオ レベルを調整するには、ボイス メモ アプリケーションを起動して[**コントロール**]→[**ボリューム**]の順に選択し、スライダを動かして入力（録音）レベルとスピーカ ボリュームを調整します。

バックアップ/リストア ユーティリティの使用

ハンドヘルドPCでは、ユーザの個人情報（ユーザが入力したデータとインストールした他社製アプリケーション）がデバイスのRAM（ランダム アクセス メモリ）に格納されています。ただし、バッテリの放電やその他の電源異常により、ハンドヘルドPCからデータが削除される場合があります。

Cシリーズでは、以下の方法でこのようなときのデータ損失を防ぐことができます。

- データをコンピュータにバックアップする。
- データをATAフラッシュ メモリPCカードにバックアップする。
- データをCシリーズのフラッシュ メモリにバックアップする。（ハンドヘルドPC内のフラッシュ メモリに保存された情報は、電源が停止しても削除されません。）

次のユーティリティを使用してCシリーズのデータのバックアップやリストア（復元）を行えます。

- **Microsoftバックアップ/復元**－広範囲にわたる確実なバックアップを行う場合は、このWindows CEサービスのユーティリティを使用して、ハンドヘルドPCのデータをコンピュータのハードドライブに定期的にバックアップできます。このユーティリティでは、データのバックアップを手動で行うか、またはハンドヘルドPCに接続するたびに自動的に行うかを設定できます。手順について詳しくは、コンピュータにインストールしたWindows CEサービスのヘルプを参照してください。
- **Compaq PCカード バックアップ/リストア**－Cシリーズにプリインストールされているこの広範囲のバックアップを簡単に行えるユーティリティを使用すると、ハンドヘルドPCのメモリの内容すべてを、別売のATAフラッシュ メモリPCカードにバックアップしたり、PCカードからリストアしたりできます。バックアップ データを保存したPCカードは持ち運びに便利ですので、いつでもデータを呼び出せます。詳しくは、次の「Compaq PCカード バックアップ/リストア ユーティリティ」の項目を参照してください。

- **Compaqフラッシュ マネージャ**－コンピュータやPCカードにアクセスできない場合は、Cシリーズにプリインストールされ ているCompaq フラッシュ メモリ マネージャ ユーティリティを使用して、ハンドヘルドPCにできるだけ多くのデータをバックアップします。このユーティリティは、メイン バッテリとバックアップ バッテリの両方の残量がほとんどなくなった場合の緊急バックアップのために使用します。メモリの使用可能スペースに応じて、アドレス帳、タスク、カレンダー、およびシステム データをバックアップすることができます。詳しくは、この章の「Compaqフラッシュ マネージャ」の項目を参照してください。

注：Cシリーズの紛失、盗難、または故障などの際のデータの損失を防ぐため、定期的にコンピュータまたはATAフラッシュ メモリPCカードにデータをバックアップすることをおすすめします。ハンドヘルドPCの使用状況に応じて、一日に一度程度はバックアップをしてください。

Compaq PCカード バックアップ/リストア ユーティリティ

Compaq PCカード バックアップ/リストア ユーティリティを使用すると、ハンドヘルドPCのメモリの内容すべてを別売のPCカードに保存できます。データを保存したPCカードは、持ち運びに便利なので、外出先でも簡単にハンドヘルドPCにデータを読み出せます。

注：このユーティリティは、Microsoft認定のWindows CE 2.0互換ATAフラッシュ メモリPCカードで使用するように設計されています。10 MB以上のカードを使用してください。コンパックのATAフラッシュ メモリPCカードについては、ハンドヘルドPCに同梱されている『アクセサリ』カタログを参照してください。

データのバックアップ

Compaq PCカード バックアップ ユーティリティを使用すると、データファイル、データベース、各種の設定、Windows CEシステム データ、およびアプリケーションがATAフラッシュ メモリPCカードにコピーされます。PCカードには、ハンドヘルドPC内のサブディレクトリも複製されます。

以下の手順に従って、データをバックアップします。

1. ハンドヘルドPCを外部電源に接続するか、またはバッテリに十分な残量があることを確認します。
2. 別売のATAフラッシュ メモリPCカードをハンドヘルドPCのPCカード スロットに挿入します。
3. [**スタート**]→[**プログラム**]→[Compaq**アプリケーション**]→[PC**カード バックアップ**]の順に選択します。
4. 画面の指示に従って、実行中のすべてのプログラムを終了します。
5. ダイアログ ボックスが表示されたら、デュアル バックアップ モードで操作する場合だけ、[**デュアル バックアップ**]をチェックします。（デュアル バックアップは、PCカード上に¥BackupAと¥BackupBという2つの最上位フォルダを作成します。この2つのフォルダはデータをコピーするたびに交互に使用され、常に最新のデータとその前のバックアップ データが保存されています。一方、シングル バックアップは、¥BackupAにだけデータをコピーするため、以前のバックアップデータは上書きされます。）
6. [**バックアップ**]ボタンをクリックすると、バックアップが開始されます。
7. バックアップが終了したらPCカードを取り出して、いつでも使用できる場所に保管します。

バックアップのヒント

- PCカードに十分な空きスペースがある場合は、デュアル バックアップ モードで操作してください。
- デュアル バックアップ モードで操作しているときに、PCカードの空きスペースが足りなくなった場合は、PCカード内の¥BackupBフォルダを削除して、シングル バックアップ モードに切り替えてください。

データのリストア（復元）

以下の手順に従って、バックアップ データをCシリーズ上にリストア（復元）します。

1. このガイドの「第4章 電源の使用」の「フル リセットの実行」を参照して、ハンドヘルドPCを工場出荷時の状態に戻します。
2. ハンドヘルドPCの電源を入れて、ATAフラッシュ メモリPCカードをPCカード スロットに挿入します。
3. **[スタート]**→**[プログラム]**→[Compaq**アプリケーション]**→[PC**カード リストア]**の順に選択して、リストア ユーティリティを実行します。
4. 画面の指示に従って作業します。
5. リストアが終了したら、リセット ボタンを押してハンドヘルドPCを再起動させます。
6. **[コントロール パネル]**の**[世界時計]で**正しい時刻と日付を設定してください。

エラーが発生した場合

リストア ユーティリティによりバックアップ ファイルが正しく検出されない場合でも、PCカードからファイルとフォルダを選択してハンドヘルドPCにコピーすることにより、手動でデータをリストアすることができます。

Compaq**フラッシュ マネージャ**

Compaqフラッシュ マネージャは、お使いのハンドヘルドPC固有の情報を記録したり、管理したりするプログラムの集合です。フラッシュ マネージャには次の2つのプログラムが含まれています。

- データベース バックアップ/リストア ユーティリティ
- [**コントロール パネル**]のフラッシュ マネージャ アプリケーション

データベース バックアップ/リストア ユーティリティ

データベース バックアップ/リストア ユーティリティ アイコンは、ハンドヘルドPCのシステム トレイに常に表示されています。このユーティリティを使用して、システム情報の他、アドレス帳、タスク、カレンダー、およびアポイントメントの各データベースに格納されているデータを手動でバックアップできます。

以下の手順に従って、データベース バックアップ/リストア ユーティリティを使用します。

1. システム トレイ内のアイコンをダブル クリックして、ユーティリティを起動します。
2. ポップアップ ボックスが表示されて[**すぐにバックアップ**]、[**すぐにリストア**]、[**バックアップを削除**]という3つの選択肢が示されます。希望するオプションを選択して、手動で操作します。

[コントロール パネル]のフラッシュ マネージャ アプリケーション

[コントロール パネル]のフラッシュ マネージャ アプリケーションは、お使いのハンドヘルドPC固有の情報を記録/管理したり、またデータの定期的なバックアップを指定したりするために使用します。

以下の手順に従って、フラッシュ マネージャ アプリケーションを使用します。

1. **[スタート]**→**[設定]**→**[コントロール パネル]**→**[フラッシュ マネージャ]**の順に選択して**[フラッシュ マネージャのプロパティ]**ダイアログ ボックスを表示します。
2. 次のいずれか1つのタブを選択します。

- **データベース バックアップ**—アドレス帳、タスク、カレンダー、アポイントメント、および選択されたシステム データをCシリーズに直接バックアップします。このバックアップ情報は、その後システムに電源異常やその他の障害が発生した場合でも、簡単に取り出すことができます。**[データベース バックアップ]**を使用して、以下の操作も可能です。

  バックアップ間隔を日数で指定できます。（デフォルト値は7日です。）

  自動バックアップ機能の有効/無効を設定できます。自動バックアップは、前回のバックアップから少なくとも12時間経過した後であれば、システムがバッテリ電源からAC電源に切り替わるたびにデータベースのバックアップを行うようシステムに指示します。自動 バックアップを使用することにより、バッテリ電源の使用中に必要となる定期バックアップの回数を減らすことができます。

  前回のバックアップの日付と時刻、それに現在のバックアップで占有されているメモリ スペースを確認できます。

- **Pocketアセット ビュアー**—モデル番号、シリアル番号、メモリ サイズといったお使いのハンドヘルドPC固有の情報を提供します。この情報は、テクニカル サポートに問い合せたり、またシステム管理者に資産管理のための情報を知らせたりする場合に役立ちます。

- **アドミニストレーション**—ハンドヘルドPCを会社で使用している場合などに、管理者パスワードやアセット タグ番号を利用して、会社の資産として管理できます。

注：管理者パスワードが有効となっている場合は、そのパスワードを使用すると、管理者ロックアウト モードを除くあらゆるパスワード セキュリティ レベルでCシリーズにアクセスできます。詳しくは、「Compaq拡張セキュリティ機能の使用」を参照してください。

Compaq拡張セキュリティ機能の使用

ハンドヘルドPCへの不正なアクセスを防止するために、4レベルのパスワード セキュリティ機能が提供されています。

重要：すぐにセキュリティ機能を使用したい場合は、ハンドヘルドPCの**[コントロール パネル]**にあるパスワード ユーティリティを使って始めの2レベルのセキュリティ（ログイン パスワードとパスワード リマインダ）を設定することをおすすめします。

以下に、セキュリティ機能の4つのレベルについて説明します。

パスワード レベルについて

注意：パスワードをすべて忘れると、Cシリーズ ハンドヘルドPCを使用できなくなってしまいます。パスワードを控えておいて、ハンドヘルドPCとは別の、人目に触れない安全な場所に保管しておくことをおすすめします。

- **ログイン パスワード**（電源投入時パスワード）—最も基本的なレベルの保護。ログイン パスワードを設定すると、パスワード ディレイ機能を設定していない場合は、ハンドヘルドPCの電源を入れるたびにWindows CEにアクセスするためのログイン パスワードまたは管理者パスワードを入力する必要があります。パスワードを間違えて入力した場合は、正しいパスワードを入力しなおしてください。ただし、5回続けてパスワードを間違えた場合は、次のいずれかの操作が必要です。

  パスワード リマインダが設定されている場合は、Compaqパスワード リマインダ画面が表示されます。下記の「パスワード リマインダ」を参照して、以降の操作を行ってください。

  パスワード リマインダが設定されていない場合、ユーザのパスワードとすべてのデータを削除するか、または2つのロックアウトモード（ロックアウトまたは管理者ロックアウト）のいずれかに移行するよう画面に表示されます。詳しくは、以下の説明を参照してください。

- **パスワード リマインダ**—パスワード リマインダが設定されている場合、ログイン パスワードを5回続けて間違えて入力すると、パスワード リマインダ画面が表示されます。この画面には、ユーザ自身が作成した質問が表示されるので、その質問に対する答え、または管理者パスワードを入力します。

  答えを間違えた場合は、正しい答えを入力しなおしてください。ただし、5回続けて答えを間違えた場合は、ユーザのパスワードとすべてのデータを削除するか、または2つのロックアウト モード（ロックアウトまたは管理者ロックアウト）のいずれかに移行するよう画面に表示されます。詳しくは、以下の説明を参照してください。

- **ロックアウト**—管理者パスワードが設定されている場合、ログイン パスワードやパスワード リマインダでの入力をそれぞれ続けて5回間違えると、ハンドヘルドPCはロックアウト モードに移行します。ハンドヘルドPCに再度アクセスするには、管理者パスワードまたはロック解除キー（文字の組み合わせ）を入力する必要があります。10回続けて入力を間違えた場合、ハンドヘルドPCは管理者ロックアウト モードに移行します。

  注：万が一パスワードを忘れてしまった場合は、ご使用されているご本人と確認させていただいてから、ロック解除キーをコンパックより発行します。詳しくは、コンパック ハンドヘルドPCサポートセンターまでお問い合わせください。

- **管理者ロックアウト**—上記のすべてのパスワード入力に失敗すると、このモードに移行します。このモードに入るとロック解除キーを入力しない限り、ハンドヘルドPCにはアクセスできません。

  重要：ロック解除キーを使用してハンドヘルドPCにアクセスすると、ユーザのログイン パスワードと管理者パスワードが削除されます。セキュリティ機能を再度設定するには、これらのパスワードを設定しなおす必要があります。

それぞれのパスワードの設定方法については、次の「パスワードの設定」の項目を参照してください。

パスワードの設定

Compaq Cシリーズには、セキュリティ確保のため、3段階のパスワードを設定できます。ログイン パスワードとパスワード リマインダは、[**コントロール パネル**]の[**パスワード**]アプリケーションで設定します。**ログインパスワードは、8文字以内の半角英数字を設定してください。**パスワードリマインダは、40文字以内の半角英数字を設定します。管理者パスワードは、[**コントロール パネル**]の[**フラッシュ マネージャ**]アプリケーションの[**アドミニストレーション**]で40文字以内の半角英数字を設定します。

注：パスワードでは大文字と小文字は区別されませんが、パスワードの設定時に記号を使用した場合は、以降のパスワード入力時にその記号を入力しないとパスワードとしては認識されません。

注意：パスワードをすべて忘れると、Cシリーズ ハンドヘルドPCを使用できなくなってしまいます。パスワードを控えておいて、ハンドヘルドPCとは別の、人目に触れない安全な場所に保管しておくことをおすすめします。

万が一パスワードを忘れてしまった場合は、ご使用されているご本人と確認させていただいてから、ロック解除キーをコンパックより発行します。詳しくは、コンパック ハンドヘルドPCサポートセンターまでお問い合わせください。

ログイン パスワード（電源投入時パスワード）の設定

以下の手順に従って、ログイン パスワードを設定します。

1. ハンドヘルドPCで、[**スタート**]→[**設定**]→[**コントロール パネル**]→[**パスワード**]の順に選択します。
2. 初めてパスワードを設定する場合は、[**パスワード**]ボックスに8文字以内の半角英数字でログイン パスワードを入力します。すでにパスワードを設定している場合は、そのパスワードを入力して[**パスワードのチェック**]ボタンをクリックします。パスワードとして入力した文字は、画面ではアスタリスク（*）として表示されます。
3. 初めてパスワードを設定する場合または現在のパスワードを変更する場合は、[**新しいパスワード**]ボックスおよび[**確認用パスワード**]ボックスに新しいパスワードを入力します。

4. [**電源投入時のセキュリティ有効**]チェックボックスをチェックすると、ログイン パスワードが有効になります。次回からハンドヘルドPCの電源を入れるたびにパスワードを入力する必要があります。

   注：電源投入時のセキュリティを有効にすると、ハンドヘルドPCの電源投入時にログイン パスワード画面とともにオーナー情報が表示されます。オーナー情報の設定方法については、この章の「[**コントロール パネル**]のオーナー アプリケーションの使用」の項目を参照してください。

5. [OK]をクリックして、新しい設定を保存します。

これで、ログイン パスワードが設定されました。以降は、パスワード ディレイ機能を有効にしていない限り、ハンドヘルドPCの電源を入れるたびにログイン パスワード画面が表示されます。

パスワード リマインダの設定

以下の手順に従って、パスワード リマインダを設定します。

1. [**スタート**]→[**設定**]→[**コントロール パネル**]→[**パスワード**]の順に選択します。
2. [**パスワード**]ボックスに、設定済みのログイン パスワードを入力します。パスワードとして入力した文字は、画面ではアスタリスク（*）として表示されます。
3. [**パスワードのチェック**]ボタンをクリックすると、パスワードが検証され、他のパスワード フィールドへの入力が可能になります。
4. 画面の左下隅に表示される[**パスワード リマインダの質問**]ボックスに、ユーザ自身のみが答えを知っている質問を入力します。80文字以内の半角英数字で、答えを思い出しやすい質問を入力してください。
5. [**新しい答え**]ボックスに40文字以内の半角英数字で答えを入力します。答えとして入力した文字は、画面ではアスタリスク（*）として表示されます。
6. [**確認用の答え**]ボックスに答えを再度入力します。
7. [OK]をクリックして設定を保存します。

これで、パスワード リマインダの設定が終了しました。5回続けてログイン パスワードを間違えた場合のみパスワード リマインダ画面が表示されるので、答えを忘れないようにしてください。

管理者パスワードの設定

以下の手順に従って、管理者パスワードを設定します。

1. [**スタート**]→[**設定**]→[**コントロール パネル**]→[**フラッシュ マネージャ**]→[**アドミニストレーション**]の順に選択します。
2. [**管理用パスワード**]ボックスに40文字以内の半角英数字でパスワードを入力します。
3. [**パスワードのチェック**]ボタンをクリックして、パスワードを検証します。

   注：管理者パスワードを変更する場合は、元の管理者パスワードを入力するよう要求されます。これを入力しないと、新しいパスワードを作成できません。
4. [OK]をクリックして設定を保存します。

これで、管理者パスワードが設定されました。

重要：ログイン パスワードがこの管理者パスワードと共に有効になっている場合は、管理者ロックアウト モードでない限り、管理者パスワードを使用して任意のパスワード セキュリティ レベルにあるCシリーズにアクセスすることができます。

パスワード ディレイ機能の設定

パスワード ディレイ機能を設定することにより、ハンドヘルドPCの電源を入れるたびに表示されるログイン パスワード画面を一時的に無効にすることができます。このため、ハンドヘルドPCの電源を入れた後すぐにWindows CEにアクセス可能となります。前回のログイン パスワード入力から最長4時間ログイン パスワード画面を無効にできます。以下の手順に従って、パスワード ディレイ機能を設定します。

1. [**スタート**]→[**設定**]→[**コントロール パネル**]→[**パスワード**]の順に選択します。
2. [**パスワード**]ボックスに、設定済みのログイン パスワードを入力します。パスワードとして入力した文字は、画面ではアスタリスク（*）として表示されます。
3. [**パスワードのチェック**]ボックスをクリックすると、パスワードが検証され、他のパスワード フィールドへの入力が可能になります。

4. ドロップダウン リスト ボックスで、ログイン画面を一時的に無効にする時間を、15分、30分、1時間、2時間、3時間、4時間のうちから選択します。

この時間を過ぎた場合は、次にハンドヘルドPCの電源を入れたときにログイン画面が表示されるので、ログイン パスワードを入力する必要があります。

電源投入時のセキュリティ設定の解除

[**パスワードのプロパティ**]画面で[**電源投入時のセキュリティ有効**]のチェックをはずすと、ハンドヘルドPCの電源を入れたときにパスワードの入力画面が表示されなくなります。

注：[**電源投入時のセキュリティ有効**]のチェックをはずして電源投入時のセキュリティ設定を解除すると、システムのパスワードが消去され、画面にメッセージが表示されます。ただし、[**パスワードのプロパティ**]画面にはパスワードの文字列を表すアスタリスク（*）が表示されたままになります。

新たにパスワードを設定しなおす場合は、[**新しいパスワード**]ボックスおよび[**確認用パスワード**]ボックスに表示されているアスタリスク（*）を削除してから、新しいパスワードを8文字以内の半角英数字で入力してください。

[コントロール パネル]のオーナー アプリケーションの使用

[**コントロール パネル**]のオーナー アプリケーションにより、ハンドヘルドPCのログイン画面に個人識別情報を表示することができます。以下の手順に従って、[**コントロール パネル**]のオーナー アプリケーションで情報を入力します。

1. [**スタート**]→[**設定**]→[**コントロール パネル**]→[**オーナー情報**]の順に選択します。
2. 各ボックスに必要な情報を入力します。
3. この情報を表示させるには、電源ボタンを押してハンドヘルドPCを再起動します。(必ず、ログイン パスワードを有効にし、パスワード ディレイ機能を無効にしておいてください。)

音量の調節

ハンドヘルドPCの内蔵オーディオ機能を使用して、デジタル オーディオ ファイルへのサウンドの録音/再生ができます。

- 録音レベルを調節するには、ボイス メモ アプリケーションのスライダを使用します。詳しくは、この章の「ボイス メモの使用」の項目を参照してください。
- 再生レベルとスピーカ ボリュームは、次のいずれかの方法で調節します。

  [**コントロール パネル**]の[**ボリューム＆サウンド**]でボリュームを調整します。

  ボイス メモ アプリケーションでボリュームを調節します。

注：ボリュームを消しても、システムのビープ音は聞こえます。

印刷

このハンドヘルドPC内のファイルは、次の方法で印刷できます。

- Auto-Sync（同期）ケーブルを使用して、ハンドヘルドPCをシリアルポート付きのプリンタに接続します。
- 赤外線（IR）ポートを介してファイルを赤外線（IR）機能を装備しているプリンタに送ります。
- Windows CEをインストールしたコンピュータにファイルを転送し、そのコンピュータから印刷します。

  注：コンピュータから印刷する場合、Microsoftアプリケーションで作成したファイルは、コンピュータのアプリケーション バージョンによって設定された印刷デフォルト値に従って印刷されます。

重要：データを印刷する場合、お使いになるプリンタがWindows CE 2.0に対応しているかどうかはプリンタの製造販売元にお問い合わせください。プリンタがWindows CE 2.0に対応していない場合は、ハンドヘルドPCから直接印刷できませんので、Windows CEサービスをインストールしたパートナーPCにデータをコピーし、パートナーPCから印刷してください。なお、Windows CE 2.0対応プリンタに関する情報は、コンパックのインターネット ホームページ（http://www.compaq.co.jp）でも順次ご紹介する予定です。

印刷可能なファイルの種類

このハンドヘルドPCから印刷できる情報の種類は以下のとおりです。

- Pocket WordおよびPocket Excelファイル
- アドレス帳およびタスクのリスト
- カレンダー内のスケジュールまたは計画のビュー
- 受信トレイのメッセージ

印刷時の注意

印刷を開始する前に、以下のガイドラインに従ってください。

- プリンタは、必ずシリアル ポートを介してハンドヘルドPCに接続してください。プリンタのパラレル ポートには接続しないでください。
- 必要であれば、プリンタのシリアル ポートに9ピン-25ピン変換アダプタを使用してください。
- モデム用ケーブルを使用してプリンタに接続しないでください。
- プリンタに設定されているパラメータ(速度、データ ビット数、ストップ ビット数、およびパリティ）が、このハンドヘルドPCで設定したパラメータと一致していることを確認してください。

ハンドヘルドPCからの印刷

以下の手順に従って、ハンドヘルドPCからファイルを直接印刷します。

1. プリンタの電源を入れ、赤外線接続またはAuto-Sync（同期）ケーブルを利用して、ハンドヘルドPCとプリンタを接続します。
2. ハンドヘルドPCのアプリケーションを起動して、印刷するファイルを開きます。
3. アプリケーションのコマンドを使用して印刷します。（例：**[ファイル]**メニューから**[印刷]**を選択します。）

印刷について詳しくは、コンピュータにインストールしたWindows CEサービスのヘルプおよび使用するアプリケーションのヘルプなどを参照してください。

アラームの設定

重要なイベントを忘れないようにするために、次に示す2通りの方法でハンドヘルドPCにアラームを設定できます。

- **Outlookのカレンダー**－カレンダーにイベントのアラームを設定するには、アラームを設定したい事項をカレンダーに追加し、次に画面の左側の[**アラーム**]ボックスでアラームを設定します。カレンダーでのアラーム設定について詳しくは、H/PCのヘルプを参照してください。
- **世界時計**－汎用アラームを設定するには、[**コントロール パネル**]から[**世界時計**]アプリケーションを開き、次に[**アラーム**]タブを選択します。

鳴り始めたアラームを解除するには、ハンドヘルドPC前面のアラーム ボタンを押します。

第9章

COMPAQ Cシリーズの取り扱い上の注意

この章では、Cシリーズ ハンドヘルドPCの取り扱い上の注意を説明します。良好な状態で長持ちさせるため、以下の項目についてのガイドラインに従ってハンドヘルドPCを使用してください。

- 日常の手入れ
- 持ち運びの際の注意
- 荷物として送る際の注意

日常の手入れ

以下の注意に従って、ハンドヘルドPCを正しく動作させ、良好な状態に保ってください。

- ハンドヘルドPCを外部電源で使用するときでも、メイン バッテリとバックアップ バッテリを取り付けておいてください。これにより、外部電源が切られても、動作に必要な電源が得られます。
- ハンドヘルドPCを湿度が極端に高い場所や極端に高温または低温な場所におかないでください。また、ハンドヘルドPCを濡らしたり、落としたりしないでください。
- ディスプレイの破損を防ぐために、閉じたディスプレイの上には何ものせないでください。
- ハンドヘルドPCを使用しないときは、保護ケースに入れて保管してください。

注意：保護ケースは、持ち運び用です。ハンドヘルドPCを過度の衝撃や振動から保護するものではありません。

- ハンドヘルドPCを清掃するときは、ハンドヘルドPCの外側とディスプレイを水で湿らせた柔らかい布で拭いてください。水以外の液体は使用しないでください。

警告：感電や装置の損傷を防ぐため、ハンドヘルドPCのディスプレイには直接液体を吹きかけないでください。また、石鹸水その他の洗剤を使用すると、表面が変色したり損傷したりする場合があります。

- ハンドヘルドPCを直射日光や強い紫外線が当たる場所に長時間放置しないでください。また、ディスプレイの表面を固いもので引っかいたり、ぶつけたりしないでください。

持ち運びの際の注意

ハンドヘルドPCを持ち運ぶ場合は、以下の安全および使用上の注意に従ってください。

- 出発する前にデータをバックアップしてください。（バックアップおよびリストア（復元）ユーティリティの使用方法については、「第8章 Compaq提供のソフトウェアの使用」を参照してください。）
- バックアップ コピーを携帯してください。（データを別売のATAフラッシュ メモリPCカードにバックアップする方法については、「第8章 Compaq提供のソフトウェアの使用」を参照してください。）
- ハンドヘルドPCからすべての外部装置を取り外してください。
- ACアダプタと新しいバッテリを携帯してください。
- ハンドヘルドPCを保護ケースに入れて手で運んでください。飛行機に乗る場合などは、他の荷物と一緒に預けず、手荷物として持ち運んでください。
- キーボードとディスプレイ間に他のものを挟まないでください。
- 空港の金属探知器には、ハンドヘルドPC内のデータに影響を与えるものもありますので注意してください。

  重要：空港の金属探知器には、X線検査機（手荷物をのせるベルト コンベア タイプ）、磁気探知機（歩いてくぐり抜けるタイプ）と磁気検査棒（検査員が手に持って押し当てるタイプ）の3種類があります。磁気によってデータが損傷する恐れがありますので、ハンドヘルドPCを持ったまま磁気探知機のゲートを通らないようにしてください。X線検査機では、データが損傷することはありません。
- 航空機内でハンドヘルドPCを使用する場合は、航空会社および乗務員の指示に従ってください。航空会社または飛行の状況により、機内での電子機器の使用が制限されることがあります。

国外へ旅行する際の注意

ハンドヘルドPCを持って国外へ旅行する場合は、事前に必ず次のことを確認してください。

- 滞在する国の通関手続きを確認してください。
- 滞在する国に適合した電源コード（ACアダプタ）を、滞在する国のコンパック製品販売店で購入してください。電源コードは各国の規格に合ったものを使用する必要があります。

警告：感電、火災、装置への損傷などを防ぐため、ハンドヘルドPCをAC電源に接続するときに、家電製品用に販売されている電圧コンバータは使用しないでください。

- モデムを使用する場合は、滞在する国の規格に合ったモデムおよびモデム ケーブルを使用する必要があります。必要に応じて滞在する国のコンパック製品販売店で購入してください。電話回線や通信プロトコルは国によって異なります。

荷物として送る際の注意

ハンドヘルドPCを荷物として運搬する場合は、以下の点に注意して準備をしてください。

- データ保護のために、バックアップ コピーを作成してください。
- バックアップ コピーを輸送する場合は、媒体（ディスケット、テープ、またはPCカード）が輸送および保管中に電気または磁気の影響を受けないことを確認してください。
- PCカード スロットは、必ず空にしておいてください。
- ハンドヘルドPCの電源を切って、すべての外部装置を取り外します。
- ハンドヘルドPCのディスプレイを閉じます。
- 購入時の梱包箱または同様の頑丈な箱にハンドヘルドPCとすべての外部部品（コードやケーブルなど）を入れ、緩衝材を十分に詰めてから梱包します。

第10章

ヒントとトラブルシューティング

この章では、Cシリーズ ハンドヘルドPCの機能を最大限に活用するヒントと、使用中にトラブルが発生した場合の解決方法を説明します。

機能を最大限に活用するためのヒント

メモリの調整

ハンドヘルドPCのメモリは、記憶用メモリとプログラム用メモリに割り当てられています。データ ファイルの保存用スペースが不足している場合は、記憶用メモリ領域を増やし、またハンドヘルドPCの動きが遅い場合は、プログラム用メモリ領域を増やすことをおすすめします。

記憶用メモリを増やす

以下の手順に従って、記憶用メモリを増やします。

注：記憶用メモリを増やすと、その分だけプログラム用メモリが減ります。

1. 不要なファイルを削除します。
2. 開いているアプリケーションがあれば、閉じます。
3. [**スタート**]→[**設定**]→[**コントロール パネル**]→[**システム**]の順に選択します。
4. [**メモリ**]タブでメモリ スライダを調整して記憶用メモリの割り当てを増やします。

プログラム用メモリを増やす

以下の手順に従って、プログラム用メモリを増やします。

注：プログラム用メモリを増やすと、その分だけ記憶用メモリが減ります。

1. 不要なファイルを削除します。
2. 開いているアプリケーションがあれば、閉じます。
3. [**スタート**]→[**設定**]→[**コントロール パネル**]→[**システム**]の順に選択します。
4. [**メモリ**]タブでメモリ スライダを調整してプログラム用メモリの割り当てを増やします。

データ転送速度の向上

ハンドヘルドPCとコンピュータ間のデータ転送速度を速くする方法については、コンピュータにインストールしたWindows CEサービスのヘルプの関連項目を参照してください。

トラブルシューティング

トラブルが発生した場合は、以降に説明する解決方法を参照してトラブルを解決してください。解決できない場合は、コンパック製品販売店、コンパック正規保守サービス会社、またはコンパック カスタマーセンターまでお問い合わせください。また、お問い合わせになる場合は、この章の「カスタマーサポートについて」の項目および「付録A コンパック カスタマーサポート」を参照してください。

PCカードに関するトラブルの解決方法

PCカードに関するトラブル		
トラブル	**原因**	**解決方法**
PCカードがシステムの一部として認識されない	ドライバのインストールが必要	ハンドヘルドPCにドライバをインストールする方法については、PCカードに添付されているマニュアルを参照してください
	PCカードの接続ケーブルまたは電源コードが接触不良、または外れている	ケーブル類が正しく、確実に接続されているかを確認します
	PCカードが正しく装着されていない	カードをいったん取り外して、正しく挿入しなおします
PCカードの使用中にハンドヘルドPCの電源が切れる	PCカードがハンドヘルドPCの電力を消費している	1. PCカードを取り外します 2. ハンドヘルドPCを外部電源に接続してから、PCカードを挿入します 詳しくは、「第6章 PCカードの使用」を参照してください
PCカードが正しく機能しない	カードまたはカード ドライバがハンドヘルドPCと互換性がない	■ PCカードに添付されているマニュアルを参照してください ■ PCカードの製造販売元にお問い合わせください
	PCカードが正しく装着されていない	カードをいったん取り外して、正しく挿入しなおします
	PCカード モデムを使用している場合、モデム ケーブルが接続されていない	モデム ケーブルを確実に接続します

オーディオに関するトラブルの解決方法

オーディオに関するトラブル		
トラブル	**原因**	**解決方法**
ハンドヘルドPCから音が出ない	ボリュームが消してあるか、低すぎる	[**コントロール パネル**]の[**ボリューム＆サウンド**]、またはボイス メモ アプリケーションでボリュームを調節します

画面に関するトラブルの解決方法

画面に関するトラブル		
トラブル	**原因**	**解決方法**
電源が入っているのに、画面が消えているように見える	ディスプレイのコントラストが極端に低い	[Alt]＋[>]キーでコントラストを調整します
画面上の表示が見づらい	ディスプレイの角度の調整が必要	画面上の表示ができるだけはっきり見えるように、ディスプレイの角度を調整します
文字が見づらい	画面が明るすぎる、または暗すぎる。コントラストや輝度の調整が必要	■ [Alt]＋[<]または[>]キーを使用してコントラストを調整します ■ バックライト ボタンを使用して輝度を調整します（詳しくは、第3章の「デュアル輝度バックライト ボタン」を参照してください）
画面が明るくなったり、暗くなったりする	ディスプレイが過熱している	デバイスを熱源（直射日光など）から離して、冷えるまで待ちます
画面をクリック（タップ）しても何も起こらない	クリック（タップ）を正しく認識できるようにディスプレイが調整されていない	[Windows]＋[i]キーを押して調整用のウィンドウを開き、ディスプレイを再調整します

キーボードとスタイラスに関するトラブルの解決方法

キーボードとスタイラスに関するトラブル		
トラブル	**原因**	**解決方法**
スタイラスが正しく機能しない	クリック（タップ）を正しく認識できるようにディスプレイが調整されていない	[Windows]＋[i]キーを押して調整用のウィンドウを開き、ディスプレイを再調整します
ハンドヘルドPCがクリック（タップ）やキーボードからの入力に応答しない	デバイスがハングアップした	リセット ボタンをスタイラスで押します **注:** リセット ボタンを押すと、保存されていないデータは失われます

セキュリティに関するトラブルの解決方法

セキュリティに関するトラブル		
トラブル	**原因**	**解決方法**
自分のログイン パスワードを使ってシステムにログインできない	ログイン パスワードが間違っている	正しいパスワードを入力するか、または誤ったパスワードを5回連続して入力することによりパスワード処理の次の段階に移行します（パスワード処理について詳しくは、第8章の「Compaq拡張セキュリティ機能の使用」を参照してください）
自分で作成した質問の答えを使用してもシステムにアクセスできない	答えが間違っている	正しい答えを入力するか、または誤った答えを5回連続して入力することによりパスワード処理の次の段階に移行します（パスワード処理について詳しくは、第8章の「Compaq拡張セキュリティ機能の使用」を参照してください）
	記号の入力が間違っている	コンパックのセキュリティ パスワードは、記号を区別します。パスワードの設定時に使用した記号を入力します

通信に関するトラブルの解決方法

赤外線（IrDA）接続に関するトラブル		
トラブル	**原因**	**解決方法**
赤外線（IR）ポートを通してファイルを転送できない	赤外線デバイスが正しく設定されていない	ソフトウェアの設定または赤外線デバイスを正しく設定しなおします。設定時の注意については、「第7章 赤外線機能の使用」を参照してください
	送信または受信側デバイスが赤外線通信用に正しく設定されていない	各デバイスを製造元の指示に従って赤外線通信用に設定します。コンピュータにインストールしたWindows CEサービスのヘルプの関連事項も参照してください
	受信側デバイスが送信側デバイスと互換性がない	ファイルを別の方法（Auto-Sync（同期）ケーブルまたはPCカードなどを使用）で転送します
赤外線（IR）ポートを通して一度に複数のファイルを転送できない	ハンドヘルドPCでは、1度に1つのファイルまたはアドレス帳のデータであれば25件分までしか他のデバイスに転送できない	必要に応じて何度かに分けて転送します

パートナー（シリアル通信）に関するトラブル

トラブル	原因	解決方法
ハンドヘルドPCとコンピュータ間の接続を設定できない	Auto-Sync（同期）ケーブルが接触不良または破損している	■ Auto-Sync（同期）ケーブルを接続しなおします ■ 破損したケーブルを新しいケーブルと交換します
	シリアル通信の設定に問題がある	コンピュータにインストールしたWindows CEサービスのヘルプのトラブルシューティングを参照してください
コンピュータに接続した場合に、データの同期化ができない	シリアル通信の設定に問題がある	コンピュータにインストールしたWindows CEサービスのヘルプのトラブルシューティングを参照してください
	コンピュータ上のMicrosoft Outlookとの互換性に問題がある	メールの同期化については、Microsoft Outlookに添付されているオンライン ヘルプを参照してください

モデムに関するトラブル		
トラブル	**原因**	**解決方法**
モデムを指定ボー レートで接続できない	電話回線に静電気その他の干渉が発生している	回線を切断して（電話を切って）から、接続しなおします
	インターネット サービス プロバイダ（ISP）の帯域幅が制限されている	ISPが提供する最大ボーレートの範囲で接続可能です
ダイアルアップ接続が安定しない	モデム ケーブルが正しく接続されていない	モデム ケーブルを正しく接続しなおします
	キャッチホンが入った	キャッチホンの契約を変更してモデム接続の障害にならないようにすることができます。詳しくは契約している電話会社までお問い合わせください
コンピュータ接続時にハンドヘルドPCのモデムを使用できない	コンピュータまたはハンドヘルドPCがモデム通信用に正しく設定されていない	■ コンピュータの[**モバイル デバイス**]フォルダにある[**通信**]タブでデバイス通信を有効にしてあるかを確認します ■ コンピュータとのパートナー設定が行われているかを確認します ■ コンピュータにインストールしたWindows CEサービスのヘルプのトラブルシューティングを参照してください
これまでアクセスしていたインターネットにアクセスできない	インターネット サービス プロバイダが設定を変更した	プロバイダに連絡して、新しいプロファイルを設定してください
ダイヤル時のモデムの音が大きすぎる、または小さすぎる	ボリュームの調節が必要	[**コントロール パネル**]の[**ボリューム＆サウンド**]、または[**ボイス メモ**]アプリケーションでボリュームを調節します

バッテリと電源に関するトラブルの解決方法

バッテリと電源に関するトラブル

トラブル	原因	解決方法
少しの間操作しないと、ハンドヘルドPCが自動的にサスペンド モードになる	バッテリ電源で動作している場合、デフォルトではハンドヘルドPCを3分間操作しないとサスペンド モードになる	電源ボタンを押して動作を再開してから、[**コントロール パネル**]の[**パワー マネージメント**]でアイドル時間を長く設定します **注：**アイドル時間を長くすると、バッテリの消耗が速くなります
ハンドヘルドPCをAC電源に接続しないと電源が入らない	バッテリの電力が不足している	1. バッテリを交換するか、またはデバイスを外部電源に接続します 2. ハンドヘルドPCの電源を入れます
ハンドヘルドPCをコンピュータに接続したり、モデムを使用したりした場合に、自動的にサスペンドが起動しない	ハンドヘルドPCは、コンピュータに接続されている間はサスペンドが起動しない	何もする必要はありません
ハンドヘルドPCをしばらく操作しないと電源が切れる	ハンドヘルドPCが完全なロー バッテリ状態になったので、自動的に電源が切れた	1. バッテリを交換するか、ハンドヘルドPCを外部電源に接続します 2. ハンドヘルドPCの電源を入れます
ハンドヘルドPCの電源を入れたとき、またはメモを録音するときに、ブーンという音がする	メイン バッテリの電力が低下している	メイン バッテリを交換します

次ページに続く

バッテリと電源に関するトラブル　　続き

トラブル	原因	解決方法
PCカードの使用中にハンドヘルドPCの電源が切れる	PCカードがハンドヘルドPCの電力を消費している	1. PCカードを取り外します 2. ハンドヘルドPCを外部電源に接続してから、PCカードを挿入します 詳しくは、「第6章 PCカードの使用」を参照してください
バッテリがすぐに消耗する	ハンドヘルドPCがバッテリの電力をたくさん消費するような方法で使用している	バッテリ電源を節約する方法については、「第4章 電源の使用」を参照してください

メモリに関するトラブルの解決方法

メモリに関するトラブル		
トラブル	**原因**	**解決方法**
ハンドヘルドPCの電源が入らない、またはハンドヘルドPCがメモリを認識しない	メモリ拡張モジュールが正しく取り付けられていない、または接触不良である	メモリ拡張モジュールを正しく取り付けなおします
	メモリ拡張モジュールが接触不良である	メモリ拡張モジュールを取り外して、柔らかい乾いた布で汚れを拭き取ってから取り付けなおします
	メモリ エラー	1. メモリ拡張モジュールを取り外して、ハンドヘルドPCの電源を入れます。 ■ 同じエラーが発生した場合は、コンパックカスタマーセンターにお問い合わせください ■ 同じエラーが発生しない場合は、モジュールの接点をクリーニングしてからモジュールを取り付けなおし、ハンドヘルドPCの電源を入れます 2. エラーが再度発生するようならば、別のメモリ拡張モジュールと交換してください

次ページに続く

メモリに関するトラブル　　続き

トラブル	原因	解決方法
操作中にメモリ不足によるエラーが発生する	アプリケーションを操作するためのプログラム用メモリが不足している	■ 開いているすべてのアプリケーションを閉じて、使用していないファイルを削除します ■ この章の「メモリの調整」を参照して使用できるプログラム用メモリのサイズを調整します ■ 必要であれば、メモリを増設します
デバイスを使用するたびに、動作が遅くなる	文書のショートカットが多すぎて、メモリを浪費している	1. [Windows]キーを押して、[**最近使ったファイル**]を選択し、最近使用した文書のショートカット数を確認します 2. 不要なショートカットをWindows¥[**最近使ったファイル**]フォルダから削除します
	メモリのリフレッシュが必要	データを保存してから、フルリセットを実行します（詳しくは、「第4章 電源の使用」を参照してください）
メモリ スペースが不足していて作業結果を保存できない	記憶用メモリが不足している	■ 開いているすべてのアプリケーションを閉じて、現在使用していないファイルを削除します ■ この章の「メモリの調整」を参照して使用可能な記憶用メモリのサイズを調整します ■ 必要であれば、メモリを増設します ■ 別売のATAフラッシュメモリPCカードをデータ保存用に使用します

カスタマーサポートについて

ハンドヘルドPCに問題が生じた場合は、この章の表および各種オンラインヘルプのトラブルシューティングの項目を参照してください。ご自分で解決できない技術的な問題が生じた場合は、ハンドヘルドPCサポートセンターにお問い合わせください。

また、ハンドヘルドPCの修理に関しては、ハンドヘルドPCに付属の保証書を参照してください。

注：ハンドヘルドPCの修理を依頼される場合は、すべてのパスワードを消去しておいてください。

お問い合わせになる前に

ハンドヘルドPCサポートセンターにお問い合わせになる際、以下の項目について事前にご準備いただくと、解決がより迅速になる場合がありますのでご確認ください。

- ご使用のハンドヘルドPCの機種名または機種番号
- ハンドヘルドPCの裏面に記載してあるシリアル番号
- 購入年月日および購入店名
- トラブルの状況（できるだけ具体的にお願いします）
- エラー メッセージ
- ハードウェア構成（ハンドヘルドPCのメモリ容量や接続している装置など）
- ハンドヘルドPCおよび接続しているコンピュータで使用しているオペレーティング システムおよびそのバージョン

付録A

コンパック カスタマー サポート

インターネットのコンパック ホームページ

コンパックでは、下記のインターネットのWebサイトで日本語による各種情報サービスを行っておりますので、ご利用ください。

http://www.compaq.co.jp

コンパック ハンドヘルドPCサポートセンター

電話番号　0120-178589

ご利用時間帯　月曜日～金曜日

9:00～12:00 および 13:00～17:00

（祝祭日およびコンパック指定休日を除く）

■ コンパック ハンドヘルドPCに関する技術的な質問をお受けします。

各国の電話番号

日本以外の地域では、以下の内容について、次ページ以降に掲載する電話番号でお答えします。（ただし、ハンドヘルドPCに関する情報を提供していない国または地域もあります。）

一般情報

製品に関する情報、技術的な内容、最寄りのコンパック製品販売店またはコンパック正規保守サービス会社についてお答えします。

テクニカル サポート

システムのコンフィギュレーション、DIAGNOSTICS（診断）での問題やトラブルシューティングなどのハードウェアに関する技術的なご質問にお答えします。

カスタマー サポート

サービス & サポート プログラム、保証、製品カタログなどに関するご質問にお答えします。

PaqFax

技術的な内容、および製品に関する情報を、自動ファックス応答システムで、24時間ご利用できます。

注：電話番号は予告なく変更されることがあります。

*が付いている番号は、国外からはご利用いただけません。

各国の電話番号

地域	国番号	電話番号
アメリカ合衆国		
製品情報*		1-800-345-1518
テクニカル サポート*		1-800-OKCOMPAQ (1-800-652-6672)
PaqFax*		1-800-345-1518、 オプション 1
モデムによるダウンロード		1-281-518-1418
バックアップ ソフトウェアの注文*		1-800-952-7689
バッテリ パック リサイクル*		1-800-524-9859
アラブ首長国連邦（ドバイ）		
一般情報	+97	14-818100
アルゼンチン		
一般情報	+54	-1-796-1616
テクニカル サポート	+54	-1-796-1717
イギリス		
一般情報		0990-134456
FaxPaq		0181-332-3550
QuickLine BBS（掲示板）		0181-332-9499
イスラエル		
一般情報	+972	-3-6363-444
テクニカル サポート	+972	-3-6363-444
PaqFax	+972	-3-6396-601
イタリア		
	09:00～18:00	
一般情報		167-464911
ソフトウェア バックアップ		167-859030
テクニカル サポート		02-69633281
	24時間	
Faxサポート		02-69633282
BBSサービス（掲示板）		02-89200222
インド		
一般情報		91-80-559-6023
PaqFax		91-80-559-8989
BBS（掲示板）		91-80-559-8900

次ページに続く

各国の電話番号　　続き

地域	国番号	電話番号
オーストラリア		
一般情報		61-2-9911-1999
テクニカル サポート		61-2-9911-1955
PaqFax		61-2-9911-1982
オーストリア		
一般情報*		0222/8 78-16-16
テクニカル サポート*		0222/8 78-16-16
バックアップ ソフトウェアの注文	+31	-55-38-43-39
オランダ		
一般情報		0182-565805
カスタマー サポート*		06-91681616 (有料：Dfl.0.75/分)
Fax*		06-8991116 (有料：Dfl.0.40/分)
QuickLine BBS（掲示板）		0182-572366
カナダ		
一般情報		1-905-707-1715
テクニカル サポート*		1-800-OKCOMPAQ (1-800-652-6672)
カスタマー サポート*		1-800-263-5868
バックアップ ソフトウェアの注文*		1-800-952-7689
バッテリ パック リサイクル*		1-800-263-5868
カリブ海諸国		
一般情報		1-281-514-4220
テクニカル サポート		1-281-518-2200
韓国		
製品情報		82-2-523-3575
カスタマー サポート		82-082-902-7777
コロンビア		
一般情報	+57	-1-312-0201
テクニカル サポート	+57	-1-345-0266
シンガポール		
一般情報		65-753-6688
カスタマー サポート センター		65-750-3030
PaqFax		65-750-4514

次ページに続く

各国の電話番号　　続き

地域	国番号	電話番号
スイス		
一般情報		0844 844 111
テクニカル サポート		01/838 22 22（ドイツ語） 01/838 22 23（フランス語）
QuickLine BBS（掲示板）		01/838 24 21
バックアップ ソフトウェアの注文		0800 556 206
スウェーデン		
一般情報	+46	-8-703-5240
テクニカル サポート	+46	-8-703-5240
PaqFax (hämtfax)	+46	-8-703-5225
QuickLine BBS（掲示板）	+46	-8-703-5220
スペイン		
一般情報	+34	-902.10.14.14
テクニカル サポート	+34	-1-640-1302
タイ		
一般情報		62-2-679-6222
台湾		
一般情報		886-2-7351000
テクニカル サポート		886-2-3761170
BBS（掲示板）		886-2-3761175
チェコ共和国		
一般情報	+420	-2-232-8772
テクニカル サポート	+420	-2-232-8772
中国		
一般情報	+86	-10-6831-3399
テクニカル サポート	+86	-10-6834-6721
チリ		
一般情報	+56	-2-274-1911
テクニカル サポート	+56	-2-274-3007
デンマーク		
一般情報	+45	-45-90-45-90
テクニカル サポート	+45	-45-90-45-45

次ページに続く

各国の電話番号　　続き

地域	国番号	電話番号
ドイツ		
	（有料：0.48 DM/分）	
ホットライン		0180/5 21 21 11
ホットラインFax		0180/5 21 21 17
Infoline		0180/3 22 12 21
Infoline Fax		0180/3 22 12 20
QuickLine		0180/5 21 21 18
FaxPaq		0180/5 21 21 19
バックアップ ソフトウェアの注文*		0130/81 10 81
ニュージーランド		
一般情報		64-9-307-3969
ノルウェー		
一般情報	+47	-22-07-20-00
テクニカル サポート	+47	-22-07-20-20
ハンガリー		
一般情報	+36	-1-457-3600
テクニカル サポート	+36	-1-457-3682
フィンランド		
一般情報	+358	-0-615-599
テクニカル サポート*		0203-206 720
QuickLine BBS（掲示板）	+358	-0-6155 9870
ブラジル		
一般情報	+55	-11-246-7866
フランス		
一般情報	+33	-1-41-33-41-33
テクニカル サポート	+33	-1-41-33-44-55
ベネズエラ		
一般情報	+58	-2-953-6944

次ページに続く

各国の電話番号　　続き

地域	国番号	電話番号
ベルギー/ルクセンブルグ		
コンパック ケア センター	Bel	0903-99036 （有料：45 BFr/分）
	Lux	089/89.232
一般情報Fax	+32	(0)2/725 22 13
Infoline（販売店、パンフレット）	+32	(0)2/716 96 96
QuickLine BBS（掲示板）	+32	(0)2/716 95 92
バックアップソフトウェアの注文	+32	(0)2/716 96 78
バックアップソフトウェアの注文Fax	+32	(0)2/716 96 79
ポーランド		
一般情報	+48	-2-630-3535
テクニカル サポート	+48	-2-630-3535
ポルトガル		
一般情報	+351	-1-4128400
テクニカル サポート	+351	-1-4128460
香港		
一般情報		852-28681382
テクニカル サポート		852-90116633
PaqFax		852-28671648
マレーシア		
一般情報		603-717-1188
テクニカル サポート		603-718-1636
南アフリカ		
一般情報		27-11-728-6999
テクニカル サポート		27-11-728-6999
メキシコ		
一般情報	+52	-5-229-7900
テクニカル サポート	+52	-5-229-7910
PaqFax	+52	-5-229-7920
ロシア		
一般情報	+7	-095-967-1700
テクニカル サポート	+7	-095-967-1700
PaqFax	+7	-095-967-1701

付録B

ハードウェア仕様

プロセッサ	Windows CE用に設計された高性能MIPSベースRISCプロセッサ
RAM	8 MBまたは20 MB。それぞれ20 MBまたは32 MBまで拡張可能
ビデオ メモリ	RAMに内蔵
スロット	PCカード用と拡張RAM用が各1スロット
ディスプレイ	640×240 1/2 VGAディスプレイ、ドット ピッチ0.24 mmのSTN
ディスプレイのコントラスト	ソフトウェア制御
バッテリ	バックアップ用：CR2032リチウム バッテリ×1 メイン用：単三アルカリ乾電池×2または ニッケル水素（NiMH）バッテリ パック×1
消費電力	750 mW
オーディオ	マイクおよび上部に取り付けたスピーカ
赤外線（IrDA）	デバイスの背面、最高速度は115.2 Kbps
通信	33.6 Kbpsモデム（一部のモデルのみ）、シリアル ポート、PCカード スロット、赤外線（IR）ポートを内蔵
サイズ	モノクロ モデル： 18.3×9.8×3.3 cm カラー モデル ： 18.3×9.8×4.0 cm
重量	モノクロ モデル： 単三アルカリ乾電池（2本）装着時 ：450 g カラー モデル ： バッテリ パック装着時 ：540 g

付録C

規定に関するご注意

規定機関識別用シリーズ番号

コンパック製品には、製品名とは別に、各規定機関での識別用にコンパック シリーズ番号があります。お買い上げいただいた製品の製品名は「Compaq Cシリーズ ハンドヘルドPC」、コンパック シリーズ番号は「2930A」です。モデム内蔵モデルの場合、モデムのシリーズ番号は、使用認可マークとともにモデムのラベルに記載されています。

装置を正しく動作させるため、コンパック2930Aハンドヘルド PCでは、信頼性および安全性が確認されている以下のアクセサリのみを使用してください。

本体およびアクセサリ	シリーズ番号
ハンドヘルドPC	2930A
クレードル	2933A
ニッケル水素（NiMH）バッテリ パック	2931A
ACアダプタ	2932A、2932B、2932C、または2932D
カー アダプタ	2934A

注：アクセサリについては、コンパック製品販売店にお問い合わせください。

2930A用ACアダプタ電源仕様		
製品識別番号	**シリーズ**2932A、2932B、2932C、**または**2932D	
入力条件	低レンジ	高レンジ
定格入力電圧	100 V～120 V	200 V～240 V
定格入力周波数	50/60 Hz	50/60 Hz
定格入力電流	250 mA	250 mA
出力電力	低レンジ	高レンジ
定格出力電圧	5 Vdc	5 Vdc
定格出力電流	1.5 A	1.5 A

■ お使いの装置にVCCIマークが付いている場合は、次の説明文をお読みください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

■ お使いの装置にVCCIマークが付いていない場合は、次の説明文をお読みください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

各国別勧告

以下に日本以外の国や地域での規定を掲載します。ただし、一般的な注意事項に関しては、日本語で記載しています。

Federal Communications Commission Notice（米国）

Part 15 of the Federal Communications Commission (FCC) Rules and Regulations has established Radio Frequency (RF) emission limits to provide an interference-free radio frequency spectrum. Many electronic devices, including computers, generate RF energy incidental to their intended function and are, therefore, covered by these rules. These rules place computers and related peripheral devices into two classes, A and B, depending upon their intended installation. Class A devices are those that may reasonably be expected to be installed in a business or commercial environment. Class B devices are those that may reasonably be expected to be installed in a residential environment (i.e., personal computers). The FCC requires devices in both classes to bear a label indicating the interference potential of the device as well as additional operating instructions for the user.

The rating label on the device shows which class (A or B) the equipment falls into. Class B devices have an FCC logo or FCC ID on the label. Class A devices do not have an FCC ID or logo on the label. Once the class of the device is determined, refer to the following corresponding statement.

Class A Equipment

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class A digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference when the equipment is operated in a commercial environment. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. Operation of this equipment in a residential area is likely to cause harmful interference, in which case the user will be required to correct the interference at personal expense.

Class B Equipment

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communi-cations. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio or television technician for help.

Modifications

The FCC requires the user to be notified that any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Compaq Computer Corporation may void the user's authority to operate the equipment.

Cables

Connections to this device must be made with shielded cables with metallic RFI/EMI connector hoods to maintain compliance with FCC Rules and Regulations.

Declaration of Conformity for Products Marked with FCC Logo (United States only)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

For questions regarding this declaration, contact

Compaq Computer Corporation
P.O. Box 692000, Mail Stop 510101
Houston, Texas 77269-2000
or call
(281) 514-3333

To identify this product, refer to the Series/model number found on the product.

Canadian Notice/Avis Canadien（カナダ）

Class A Equipment

This Class A digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la classe A respecte toutes les exigences du Réglement sur le matériel brouilleur du Canada.

Class B Equipment

This Class B digital apparatus meets all requirements of the Canadian Interference-Causing Equipment Regulations.

Cet appareil numérique de la classe B respecte toutes les exigences du Réglement sur le matériel brouilleur du Canada.

European Notice（欧州）

Products with the CE Marking comply with both the EMC Directive (89/336/EEC) and the Low Voltage Directive (73/23/EEC) issued by the Commission of the European Community.

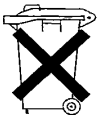
Compliance with these directives implies conformity to the following European Norms:

- EN55022 (CISPR 22)-Electromagnetic Interference
- EN50082-1 (IEC801-2, IEC801-3, IEC801-4)-Electromagnetic Immunity
- EN60950 (IEC950)-Product Safety

国際エネルギー スター プログラム

当社は、国際エネルギー スター プログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギー スター プログラムの基準に適合していると判断します。 このプログラムは、家庭、オフィス、工場などで使用する装置のエネルギー効率を向上させることで、省エネルギー/省資源を促進するとともに大気汚染を防止することを目的として実施されたものです。このため、コンパックの製品には、エネルギー消費を削減するなどの省電力機能が搭載されています。

バッテリについてのご注意



日本では、お住まいの地域の規則または条例に従って、公共の収集システム等を利用してバッテリ パックを廃棄してください。

北米では、ニッケル水素バッテリ パックを廃棄する場合、コンパックのバッテリ パック リサイクル プログラムをご利用になれます。コンパックが提供する容器を使うと、使用済みバッテリ パックを無料で再利用施設に郵送できます。詳しくは、このガイドの付録Aにあるお住まいの地域のコンパック カスタマーセンターの電話番号にお問い合わせください。

ヨーロッパでは、バッテリを家庭用ゴミとして捨てることは禁じられています。公共の収集システムを利用するか、コンパック正規保守サービス会社またはコンパック製品販売店まで郵送してください。

U.S. Regulations Governing the Use of Modems（米国）

This equipment complies with Part 68 of the FCC rules. Located on the bottom of the Series 2930A is a label that contains, among other information, the FCC Registration Number and Ringer Equivalence Number (REN) for this equipment. Upon request, you must provide this information to your telephone company.

The REN is useful to determine the quantity of devices you may connect to your telephone line and still have all of those devices ring when your telephone number is called. In most areas (but not all), the sum of the RENs of all devices connected to one line should not exceed five (5.0). To be certain of the number of devices you may connect to your telephone line, as determined by the REN, you should contact your local telephone company to determine the maximum REN for your calling area.

The REN for this device is 0.8B (ac), 4.0B (dc).

An FCC Compliant 6-position modular plug is provided with this equipment. This equipment is designed to be connected to the telephone network or premises wiring using a compatible 6-position modular jack which is FCC Part 68 Compliant (jack type: RJ-11C).

If your telephone equipment causes harm to the telephone network, the telephone company may discontinue your service temporarily. If possible, they will notify you in advance. But, if advance notice is not practical, you will be notified as soon as possible. You will also be informed of your right to file a complaint with the FCC.

Your telephone company may make changes in its facilities, equipment, operations, or procedures that could affect the proper functioning of your equipment. If they do, you will be notified in advance to give you an opportunity to maintain uninterrupted telephone service.

If you experience trouble with this telephone equipment, contact your local telephone company for information on obtaining service or repairs. The telephone company may ask that you disconnect this equipment from the network until the problem has been corrected or until you are sure that the equipment is not malfunctioning.

This equipment may not be used on coin service provided by the telephone company. Connection to party lines is subject to state tariffs.

For the Compaq Customer Support Center and your nearest Compaq authorized reseller in North America, call 1-800-345-1518 or write:

Compaq Customer Support Center
P.O. Box 692000
Houston, Texas 77269-2000

Telephone Consumer Protection Act of 1991

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device to send any message via a telephone facsimile machine unless such message clearly contains, in a margin at the top or bottom of each transmitted page, or on the first page of the transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, or entity, or individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, or entity, or individual.

Canadian Regulations Governing the Use of Modems（カナダ）

NOTE: The Canadian Department of Communications label identifies certified equipment. This certification means that the equipment meets certain telecommunications network protective, operational, and safety requirements. The Department does not guarantee the equipment will operate to the user's satisfaction.

Before installing the equipment, users should ensure that it is permissible to be connected to the facilities of the local telecommunications company. The equipment must also be installed using an acceptable method of connection. In some cases, the company's inside wiring associated with a single line individual service may be extended by means of a certified con-nector assembly (telephone extension cord). The customer should be aware that compliance with the above conditions may not prevent degradation of service in some situations.

Repairs to certified equipment should be made by an authorized Canadian maintenance facility designated by the supplier. Any repairs or alterations made by the user to this equipment, or equipment malfunctions, may give the telecommunications company cause to request the user to disconnect the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution may be particularly important in rural areas.

CAUTION: Users should not attempt to make such connections themselves, but should contact the appropriate electric inspection authority, or an electrician.

NOTE: The Ringer Equivalence Number (REN) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface may consist of any combination of devices, subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

The Ringer Equivalence Number (REN) for this device is 0.8.

For information on the location of the authorized Canadian maintenance facility nearest you, call 1-800-263-5868 or contact:

Compaq Canada, Inc.
45 Vogell Road
Richmond Hill, Ontario LA5B 3P6

U.K. BABT User Information

The Series 2930A provides an integrated modem. For the purposes of BABT approval, the Series 2930A is classified as a host-independent product.

Telephone Network Connection

- The modem is suitable for connection to the Public Switched Telephone Network (PSTN) direct exchange lines and relevant branch systems (PBXs).
- The exchange should provide facilities for multifrequency (tone) dialing.
- This apparatus has been approved for the following facilities:

  Simple modem

  Facsimile

  Automatic call initiation

  Detection of initial proceed indication

  Automatic dialing

  Tone detection of busy tone, dial tone, or number unobtainable tone

  Auto clear from the call origination end

  Multifrequency (tone) dialing

Any other usage will invalidate the approval of the apparatus if, as a result, it ceases to conform to the standards against which approval was granted.

All apparatus connected to this modem and, thereby, connected directly or indirectly to the British Telecom Public Switched Telephone Network, must be approved apparatus as defined in Section 16 of the British Telecommunications Act of 1981.

CAUTION: The series 2930A may not be used on extension wiring that makes use of plug pins 1 & 6. If in doubt, advice must be obtained from a competent telecommunications engineer.

This device is intended for auto-answering of incoming calls. Under normal conditions, callers will be accustomed to calls being answered within 10 seconds, and a majority of callers will abandon calls that are not answered within 45 seconds.

There are several options available for auto-answering operation. The default setting is for two incoming rings. This is the recommended setting for normal operation by most computer and handheld PC users.

Auto Dialing with the Modem

When entering telephone numbers, ensure that the number that appears on the screen is correct before beginning to dial.

AUSTEL Requirements

CAUTION: Failure to set the modem, and any communications software used with the modem, to the values contained in the Telephone Answering Machine documentation will result in the modem being operated in a non-compliant manner. Consequently, there would be no permit in force for this equipment, and the Telecommunications Act 1991 prescribes a penalty of $12,000 for the connection of non-permitted equipment.

Auto Dialing with the Modem

1. When entering telephone numbers, ensure that the number that appears on the screen is correct before beginning to dial.
2. Some parameters required for compliance with AUSTEL specifications are dependent on the Telecommunications apparatus provided with the Compaq series 2930A. The series 2930A shall be set to operate within the following limits for compliance with AUSTEL Specifications.

   When the user manually initiates a call via equipment connected to the Compaq handheld PC, the equipment shall operate within the following restrictions:

   a. Without call progress detection-a maximum of three calls (original plus two retries).

b. With call progress detection (which ensures the line will be released after detection of tones indicating the call will not be successful)-a maximum of ten calls (original plus nine retries).

c. If the series of calls noted in a or b are unsuccessful, no further attempts shall be made to obtain the required number within the next 30 minutes (unless manually initiated).

NOTE: Failure to meet the above requirements may negate user rights under the AUSTEL Terms of Service.

User Instructions Compliant with New Zealand Telecom Requirements

The Series 2930A provides an integrated modem. For the purposes of New Zealand Telecom approval, the Series 2930A is classified as a host-dependent product.

Telephone Network Connection

The grant of a New Zealand Telepermit for a device in no way indicates NZ Telecom acceptance of responsibility for the correct operation of that device under all operating conditions. In particular the higher speeds at which this modem is capable of operation depends on a specific network implementation which is only one of may ways of delivering high quality voice telephony to customers. Failure to operate should not be reported as a fault to New Zealand Telecom.

In addition to satisfactory line conditions a modem can only work properly if:

1. It is compatible with the modem at the other end of the call, and
2. The application using the modem is compatible with the application at the other end of the call, for example, accessing the Internet requires suitable software in addition to a modem.

This equipment shall not be used in any manner which could constitute a nuisance to other New Zealand Telecom customers.

1. The modem is suitable for connection to the Public Switched Telephone Network (PSTN) direct exchange lines and relevant branch systems (PBXs).
2. A ringer approximate loading (RAL) is a value given to all apparatus to be connected to the PSTN. Its value can be taken and used to calculate the maximum number of equipment items that can be connected in parallel without impairing the performance of the standard bell circuit.

   The maximum RAL value for telephone equipment is 5. Exceeding the RAL value of 5 may cause your telephone(s) to ring weakly or not ring at all.

Only one modem should be connected to a telephone line. Connecting a modem in parallel with one or more telephone instruments is not allowed.

3. The RAL for this piece of equipment is 1.0.
4. The exchange should provide facilities for either loop disconnect (pulse) dialing or multifrequency (tone) dialing. The modem can be configured to operate with either system.
5. The operation of this equipment on the same line as telephones or other equipment with audible warning devices or automatic ring detectors will give rise to bell tinkle or noise and may cause false tripping of the ring detector. Should such problems occur, the user is not to contact Telecom Faults Service.
6. This apparatus has been approved for the following facilities:

   Simple modem

   Facsimile

   Automatic call initiation

   Detection of initial proceed indication

   Detection of secondary proceed indication

   Operation in the absence of proceed indication

   Automatic dialing

   Tone detection of busy tone, dial tone, or number unobtainable tone

   Auto clear from the call origination end

   Loop disconnect (pulse) dialing

   Multifrequency (tone) dialing
7. Any other usage will invalidate the approval of the apparatus, if as a result it then ceases to conform to the standards against which approval was granted.
8. This equipment may not necessarily provide for the effective hand-over of a call to or from a telephone connected to the same line.

Auto Dialing with the Modem

1. When entering telephone numbers, ensure that the number that appears on the screen is correct before beginning to dial.

2. Some parameters required for compliance with Telecom's PTC Specifications are dependent on the telecommunications apparatus provided with the Compaq Series 2930A handheld PC. The internal modem provided with the Series 2930A shall be set to operate within the following limits for compliance with Telecom specifications.

3. When the user manually initiates a call via the modem equipment connected to the Compaq handheld PC, the host PC and modem equipment shall operate within the following restrictions:

   Not more than five call attempts shall be made to the same number within a one-hour period.

   There shall be at least 60 seconds between call attempts.

   Not more than a total of ten call attempts shall be made to the same number for any single manual call initiation.

   Automatic calls to different numbers shall be not less than 60 seconds apart.

NOTE: Failure to meet the above requirements may negate the user rights under the Telecom Terms of Service.

WARNING: This equipment does not provide a guard tone with certain transmission modes. In some circumstances this could cause interference with the telephone network signaling systems and could result in lost calls. Telecom will not accept responsibility should such problems occur. Such occurrences will be rare.

WARNING: This equipment does not fully meet Telecom’s impedance requirements. Performance limitations may occur when used in conjunction with some parts of the network. Telecom will accept no responsibility should difficulties arise in such circumstances.

WARNING: When setting the apparatus for Auto-Answer do not set the number of rings to answer at a value greater than 5 or less than 3. Setting the Auto Answer parameter value outside this range will violate Telecom requirements which will cause the equipment not to conform with the standards against which approval was granted.

A person calling your modem will hear a short burst of ringing before the modem answers. This confirms that the call has been successfully switched through the network. Caller Identification Information (which occurs between the first and second rings cadences) is not destroyed.

Benutzerhinweise für besondere Bestimmungen in Deutschland

Hinweis für die Benutzung in der Bundesrepublik Deutschland

Dieses Gerät ist mit einem 2-adrigen Anschlußkabel mit TAE-Stecker **ohne Kodierung N oder F** ausgestattet. Es ist zum Betrieb als einzige Endeinrichtung am Netzanschluß vorgesehen. Der Stecker kann in F-kodierte und N-kodierte Anschlußdosen gesteckt werden.

Zur Anschaltung an das Telefonnetz ist das mitgelieferte Kabel zu verwenden.

Das Gerät hat keine weiterführenden Sprechadern. Weitere Endeinrichtungen, die sich am Telefonanschluß befinden, werden beim Einstecken des Gerätes von der Leitung getrennt.

Speciale gebruiksinstructies voor Nederland

Kiezen met impulsen is niet van toepassing in Nederland.

Wachten op kiestoon

Het modem moet altijd eerst een kiestoon ontvangen voordat wordt geprobeerd een verbinding tot stand te brengen. Deze vereiste kan niet worden uitgeschakeld met de opdracht ATX<n>.

索引

A

ACアダプタ 4-13, 4-14
AC電源 4-13
AC電源コネクタ 1-10
AC電源への接続 4-14
[Alt]キー 3-3
Auto-Sync（同期）ケーブル 1-2, 1-10, 2-4
　トラブル 10-7

C

COMポート 2-3

E

Excel 3-4

F

[Fn]キー 3-2

I

IR 「赤外線」を参照
IRポート 「赤外線（IR）ポート」を参照

M

Microsoftバックアップ/復元 8-4

P

PCMCIA 「PCカード」を参照
PCカード
　PCカード ソフトウェアのインストール 6-2
　イジェクト レバー 1-12
　サポートされるタイプ 6-1
　スロット 1-9, 1-12
　操作上の注意 6-2
　挿入 6-3
　トラブル 10-3
　取り出し 6-4
Pocket Excel 3-4
Pocket PowerPoint 3-4
Pocket Word 3-4
PowerPoint 3-4

R

RAMコンパートメント 1-12

W

Windows CEサービス 2-3
　インストール 2-3
[Windows]キー 3-3
Word 3-4
World Wide Web 「インターネット」を参照

あ

アドレス帳 3-4
アプリケーション起動キー 3-3, 3-4
アプリケーションの起動 3-3, 3-4
アラーム
　解除 8-19
　設定 8-19
アラーム ボタン 1-10
アラーム ランプ 1-11
アルカリ乾電池 1-2
　交換 4-8
印刷 8-17
　印刷可能なファイルの種類 8-17
　注意 8-18
　ハンドヘルドPCからの 8-18
インターネット 5-5, A-1
　アクセス 5-5
　起動キー 3-4
　接続 5-5
　ブラウジング 5-5
オーディオ
　調節 8-16
　トラブル 10-4

オーディオ レベル
調整 8-3
オンライン ヘルプ x
音量
調節 8-16

か

ガイド ツアー 1-8
起動 3-2
各国別勧告 C-3
拡張コンパートメント 1-12
各部の名称
AC電源コネクタ 1-10
PCカード イジェクト レバー 1-12
PCカード スロット 1-9, 1-12
アラーム ボタン 1-10
アラーム ランプ 1-11
拡張コンパートメント 1-12
シリアル コネクタ 1-10
スタイラス スロット 1-10
スピーカ 1-11
赤外線（IR）ポート 1-11
ディスプレイ 1-9
電源ボタン 1-10
バックアップ バッテリ コンパートメント 1-12
バックライト ボタン 1-10
バッテリ充電ランプ 1-11
マイク 1-11
メイン バッテリ コンパートメント 1-12
モデム コネクタ 1-9
リセット ボタン 1-12
録音ボタン 1-10
カスタマー サービス 10-13
カスタマーサポート A-1
各国の電話番号 A-2
画面
トラブル 10-4
画面の明るさ 「バックライト」を参照
カレンダー 3-4
管理者パスワード
設定 8-14
管理者ロックアウト モード 8-11
キー
[Caps] 3-3
[<]、[>] 3-2
[Alt] 3-3
[Fn] 3-2
[Windows] 3-3
アプリケーション起動 3-3, 3-4
コントラスト 3-2
キーボード
トラブル 10-5
記憶用メモリ
増やす 10-1
規定機関識別用シリーズ番号 C-1
機能を最大限に活用するためのヒント 10-1
クレードル 1-2
国外へ旅行する際の注意 9-4
国際エネルギー スター プログラム C-6
コントラスト キー 3-2
コントラストの調整 3-2
コントロール パネルのオーナー アプリケーション 8-16
コンパック
ハンドヘルドPC サポートセンター A-1
ホームページ x, A-1
コンパック提供のソフトウェア 2-5, 8-1
Compaq拡張セキュリティ 8-10
PCカード バックアップ/リストア（復元） 8-4
コントロール パネルのオーナー アプリケーション 8-16
フラッシュ マネージャ 8-5
ボイス メモ 8-2
コンパック提供のソフトウェアのインストール 2-5
コンピュータとの接続設定 2-4

さ

サウンド
  調節 8-3, 8-16
  トラブル 10-4
サポートセンター A-1
システムのハングアップ 4-15
受信トレイ 3-4
仕様 B-1
情報
  印刷物 ix
  オンライン リファレンス x
  検索 x
  ハンドヘルドPC ix
シリアル ケーブル
  コネクタ 1-10
  トラブル 10-7
新規パートナー関係のウィザード 2-4
[スタート]メニュー 3-3
  起動 3-3
スタイラス 3-6
  クリック感度の調整 3-6
  クリック速度の調整 3-6
  調整 3-6
  トラブル 10-5
スタイラス スロット 1-10
スピーカ 1-11
赤外線 7-1
  情報の転送 7-3
  赤外線ソフトウェアの設定 7-2
  赤外線デバイスの設定 7-2
  接続の確立 7-2
  トラブル 10-6
赤外線（IR）接続の確立 7-2
赤外線（IR）ポート 1-11
セキュリティ 8-10
  トラブル 10-5
  パスワードについて 8-10
  パスワードの設定 8-12
接続 「パートナーの設定」を参照
外付けモデム 5-4
  接続 5-4
  設定 5-4
ソフトウェア
  Microsoftのソフトウェアのインストール 2-3
  コンパック提供のソフトウェアのインストール 2-5

た

ダイヤルアップ接続 5-3, 5-4
タスク 3-4
通信ポート 2-3
  設定 2-3
ディスプレイ 1-9
ディスプレイに関するトラブル 「画面に関するトラブル」を参照
ディスプレイの再調整 3-6
手入れと注意 9-2
データ転送速度
  向上 10-2
データの同期化 2-4
データのバックアップ 8-4, 8-6
データのリストア（復元） 8-4, 8-7
テクニカル サポート
  お問い合わせになる前に 10-13
デスクトップ コンピュータへの接続 2-4
電源
  AC電源の使用 4-13
  使用するバッテリ 4-2
  トラブル 10-9
  バックアップ バッテリの交換 4-11
  バッテリの交換 4-6
  バッテリの節約 4-4
  メイン バッテリの交換 4-6
電源のオン/オフ 1-10, 3-2
電源ボタン 1-10, 3-2
電源ランプ 「バッテリ充電ランプ」を参照
電話番号
  コンパック ハンドヘルドPC サポートセンター A-1

トラブルシューティング 10-2
PCカードに関するトラブル 10-3
オーディオに関するトラブル 10-4
画面に関するトラブル 10-4
キーボードに関するトラブル 10-5
スタイラスに関するトラブル 10-5
赤外線に関するトラブル 10-6
セキュリティに関するトラブル 10-5
電源に関するトラブル 10-9
パートナーに関するトラブル 10-7
バッテリに関するトラブル 10-9
メモリに関するトラブル 10-11
モデムに関するトラブル 10-8

な

内蔵モデムの接続 5-3
日常の手入れ 9-2
ニッケル水素（NiMH）バッテリパック 1-2, 4-10
荷物として送る際の注意 9-4
ノーマル リセット 4-15

は

パートナー 2-1
トラブル 10-7
パートナーの設定 2-1
Windows CEサービスのインストール 2-3
コンピュータに必要な条件 2-2
通信ポートの設定 2-3
ハンドヘルドPCとコンピュータの接続 2-4
必要な条件 2-2
パスワード 8-10
管理者 8-14
パスワード ディレイ 8-14
パスワード リマインダ 8-11
ログイン 8-10
パスワード ディレイ機能の設定 8-14
パスワードの設定 8-12
管理者パスワード 8-14
パスワード ディレイ機能 8-14
パスワード リマインダ 8-13
ログイン パスワード 8-12
パスワード リマインダ 8-11
設定 8-13
バックアップ バッテリ交換 4-11
バックアップ バッテリコンパートメント 1-12
バックアップ/リストアユーティリティ 8-4
バックライト 3-2, 3-5
自動的にオンにする 3-5
使用時のヒント 3-5
～によるバッテリの節約 3-5
レベル設定 3-5
バックライト ボタン 1-10
バッテリ
アルカリ乾電池の交換 4-6
電源の節約 4-4
電源レベル 4-2
トラブル 10-9
ニッケル水素（NiMH）バッテリパックの交換 4-6
ニッケル水素（NiMH）バッテリパックの充電 4-10
廃棄 4-13, C-6
バックアップ バッテリの交換 4-11
メイン バッテリの交換 4-6
ロー バッテリ アイコン 4-3
ロー バッテリ警告メッセージ 4-3
ロー バッテリ時の表示 4-3
ロー バッテリ シャットダウン 4-4
バッテリ充電ランプ 1-11
バッテリ電源の残量 4-2
バッテリ電源の節約 4-4
バッテリ電源レベル 4-2
チェック 4-2
バッテリ パック
廃棄 C-6
ハングアップ 4-15
ハンドヘルドPCとコンピュータの接続 2-4

ハンドヘルドPCに関する情報 ix
ハンドヘルドPCのセットアップ 1-3
ハンドヘルドPCのリセット 4-15
ノーマル リセット 4-15
フル リセット 4-16
フラッシュ マネージャ 8-5, 8-8
フラッシュ メモリ 8-4
フル リセット 4-16
プログラムの起動 3-4
Pocket Excel 3-4
Pocket Word 3-4
Pocket PowerPoint 3-4
アドレス帳 3-4
インターネット 3-4
カレンダー 3-4
受信トレイ 3-4
タスク 3-4
ボイス メモ 3-4
プログラム用メモリ
増やす 10-2
プログラムを起動する
「アプリケーション起動キー」を参照
ペン 「スタイラス」を参照
ボイス メモ 3-4, 8-2
メッセージの管理 8-3
メッセージの再生 8-3
メッセージの録音 8-2
ポインティング デバイス
「スタイラス」を参照
ボタン
アラーム 1-10
電源 1-10, 3-2
バックライト 1-10, 3-2
リセット 1-12
録音 1-10
ボリューム
調節 8-3, 8-16
トラブル 10-4

ま

マイク 1-11
名称 「各部の名称」を参照
メイン バッテリ コンパートメント 1-12
メモリ
調整 10-1
トラブル 10-11
割り当て 10-1
メモリ コンパートメント 1-12
持ち運びの際の注意 9-3
モデム
安全上のご注意 5-2
接続 5-3
外付けモデムの接続 5-4
ダイヤルアップ接続 5-3, 5-5
トラブル 10-8
内蔵モデムの接続 5-3
～によるインターネット接続 5-5
モデム コネクタ 1-9
モニタに関するトラブル
「画面に関するトラブル」を参照

ら

ラップトップ コンピュータへの接続 2-4
ランプ
アラーム 1-11
バッテリ充電 1-11
リセット ボタン 1-12
リチウム ボタン電池
「バックアップ バッテリ」を参照
ロー バッテリ アイコン 4-3
ロー バッテリ警告メッセージ 4-3
ロー バッテリ時の表示 4-3
ロー バッテリ シャットダウン 4-4
ログイン パスワード 8-10
設定 8-12
録音ボタン 1-10
ロックアウト モード 8-11

266667-192